デジタルビデオカメラ

型名　GR-DF590

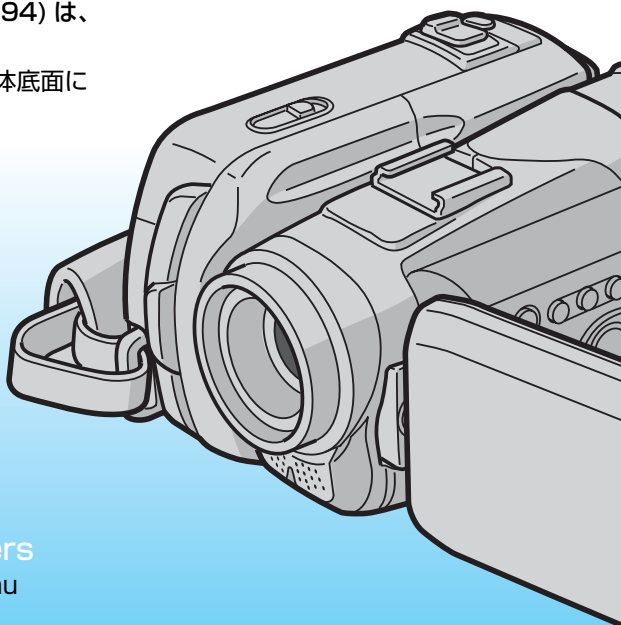
取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用のまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「使用上のご注意」(P.4) と「安全上のご注意」(P.94) は、必ずお読みください。

[本機の製造年は、本体底面に表示されています。]

はじめに
準備する
すぐ使う
もっと撮る
編集する
設定する
困ったときは
その他

For English Users

To change the Menu indications etc. to English, see page 25.
(本体画面の表示などを英語に変えるには、P.25 をご覧ください。)

LYT1404-001C

もくじ

はじめに

準備する

すぐ使う

もっと撮る

編集する

設定する

困ったときは

その他

準備する
すぐ使う
もっと撮る
編集する
設定する
困ったときは
その他

使用上のご注意

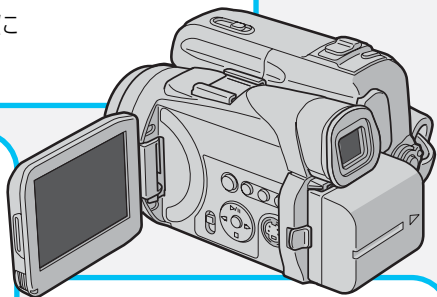
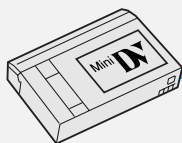
このビデオカメラについて

● DV 方式です。ほかの方式や従来式のビデオとは互換性がありません。

● 電源（バッテリーや AC アダプター）をはずすときは、必ず電源を切ってください。
動作中にはずすと、テープやカードの損傷や誤動作の原因となります。

● 使わないときは、電源を切ってください。
入れたままだと表面が温かくなります。

● 長期間使わない場合は、テープを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。
ときどき電源を入れて、動作を点検してください。

● 次のような場所に置かないでください。
・晴天時の閉め切った車内など、高温になる場所。
・直射日光が当たる場所。
・ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所。

液晶画面について

● 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり、割れたりする場合があります。

● 小さく光る点（赤・青・緑）や黒い点は故障ではありません。
テープやカードには記録されません。

著作権について

● 録画・録音したビデオは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

● 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

テープとメモリーカードについて

- 次のマークがあるものを使ってください。
  テープは Mini DV 、カードは SD MultimediaCard
- 曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。
- 湿気が少なく、カビの発生しない場所に保管してください。
- カードの金属部分を触らないでください。

※ 不具合により正常に動作しないことがあります。内容の補償はご容赦ください。

バッテリー（充電式電池）について

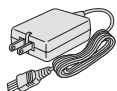
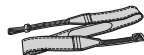
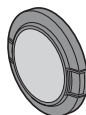
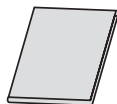
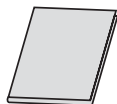
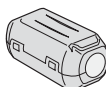
- 小型で高容量のリチウムイオンバッテリーです。
- 低温（10 ℃以下）では、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。カイロなどに直接ふれないよう、ご注意ください。
- 長期間保管するときは、バッテリーの劣化を防ぐため、次の操作で使いきってください。さらに、半年に 1 回程度充電し、再び使いきってから保管してください。
  1)テープを入れずに、電源スイッチを「撮影」にあわせる。
  2)電源が自動的に切れるまで待ち、バッテリーを取りはずす。
- 使わないときは、バッテリー残量が減るのを防ぐため、必ず取りはずしてください。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付け、約 15 ～ 25 ℃の乾燥したところに保管してください。
- バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
  安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
  ・お問い合わせ：小形二次電池再資源化推進センター
  　http://www.jbrc.com/
  ※見られない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターへ

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

はじめに　準備する　すぐ使う　もっと撮る　編集する　設定する　困ったときは　その他

はじめにお確かめください

付属品

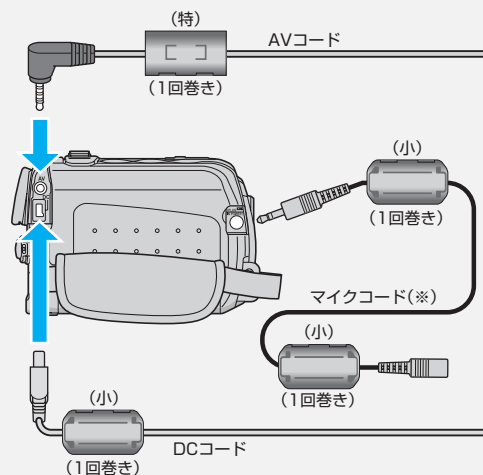
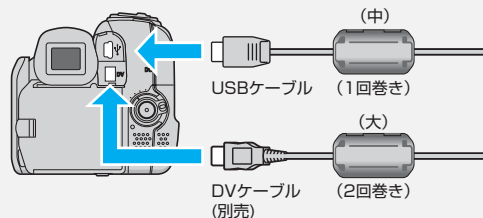
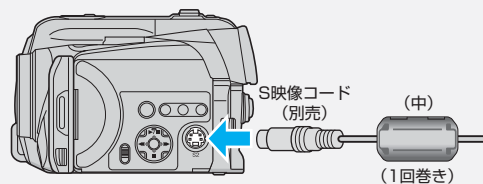
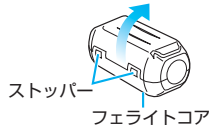
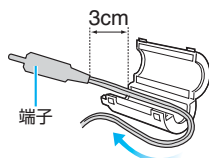
万が一、不足品がございましたら、お買い上げ店、またはサービス窓口にお問いあわせください。

別売アクセサリー

詳しくはカタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VF714
バッテリーパック	BN-VF733
バッテリーキット	VU-V840KIT
バッテリーキット	VU-V856KIT
バッテリーチャージャー	AA-VF7
DC コード	VC-VBN800

DV ケーブル	VC-VDV204
DV 動画編集パック	GV-DV1500
PC カードアダプター	CU-V51
フロッピーディスクアダプター	CU-V41
USB リーダー / ライター	CU-V70

接続時のノイズをおさえるために

コードやケーブルをお使いの場合は、フェライトコアを必ず取り付けてください。本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

※マイクコードは、本機とマイク（別売）を接続するときに使います。フェライトコアをマイクコードの両端に取り付けてください。

各部のなまえ

左側面

S 端子 (P.39 、52、54)

動画メモリー(P.60)／インデックス(P.36 、38)

選択（P.35 、38）／書込み（P.31 ）

インフォ（P.14 ）

メニュー / データ(P.19 、70)

上／ ▶/II 再生・一時停止／フォーカス（P.43 ）

決定

右／ ▶▶ 早送り／次へ／ライト (P.44)

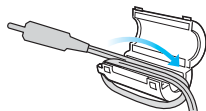
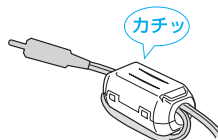
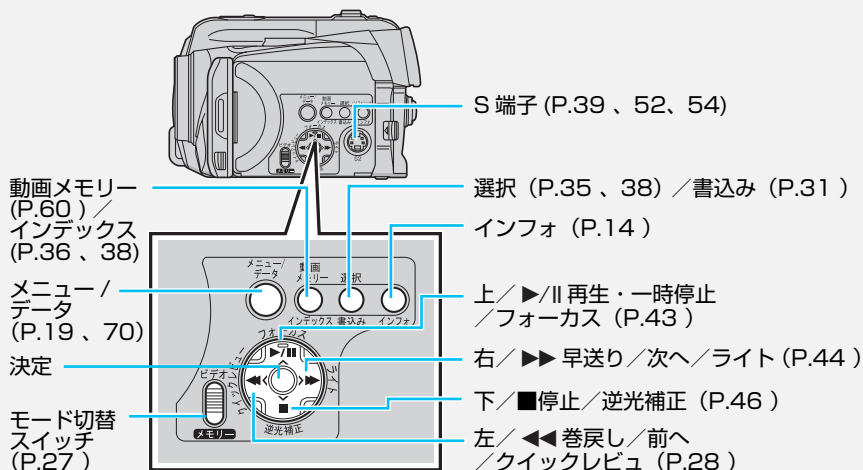
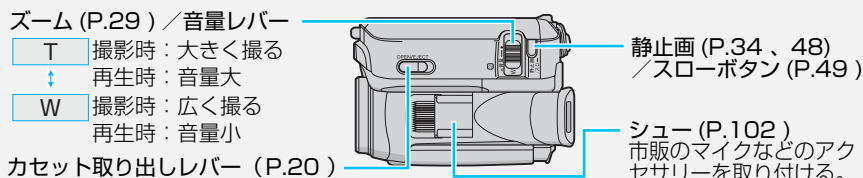
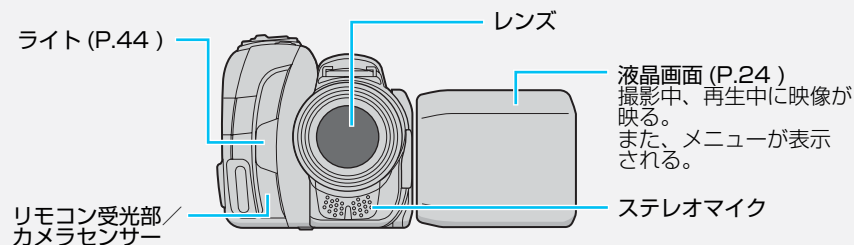
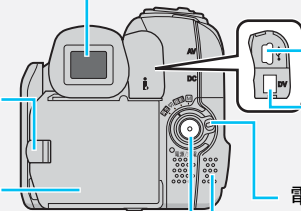
下／■停止／逆光補正（P.46 ）

モード切替スイッチ(P.27)

左／ ◀◀ 巻戻し／前へ／クイックレビュ（P.28 ）

上面

正面

背面

M	：マニュアル撮影するとき
撮影	：オート撮影するとき
切	：電源を切るとき
再生	：再生や編集するとき

右側面

底面

リモコン

ズームボタン
T：大きく撮る
W：広く撮る

撮影スタート／ストップボタン

画面表示ボタン

静止画ボタン

演出効果ボタン

演出効果入／切ボタン

シフトボタン

■リモコンの使いかた

リモコン受光部

屋内で約 5m

リモコン発光部

「❚❚」ボタン（上ボタン）

「◀❚」ボタン（スロー（逆転）ボタン）

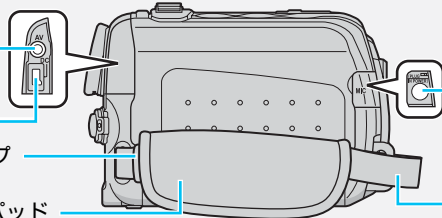
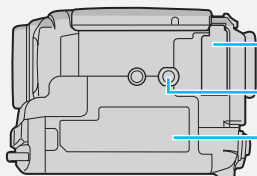
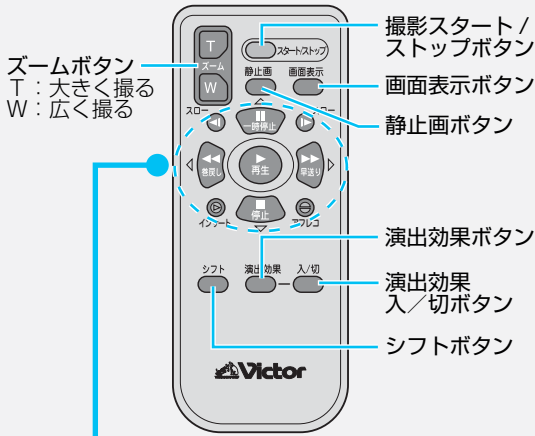
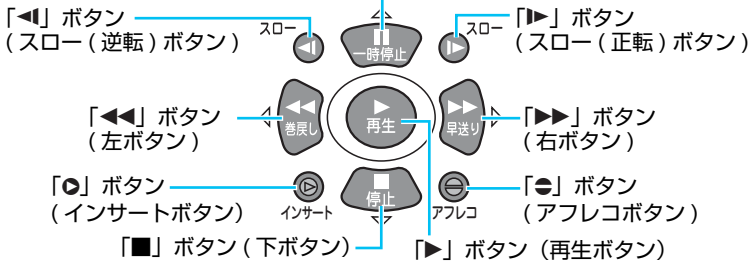
「❚▶」ボタン（スロー（正転）ボタン）

「◀◀」ボタン（左ボタン）

「▶▶」ボタン（右ボタン）

「⦿」ボタン（インサートボタン）

「⊖」ボタン（アフレコボタン）

「■」ボタン（下ボタン）

「▶」ボタン（再生ボタン）

■コマ送り再生（ムービーのみ）
「スロー」を押す。
（押すたびに 1 コマ送る）

■再生画面を拡大する
「T」を押して大きくする。
「W」を押して戻す。

■再生画面に効果をつける（ムービーのみ）
「演出効果」を押して効果を選ぶ。

■スロー再生（ムービーのみ）
「スロー」を約 2 秒以上押し続ける。

■拡大した画面を動かす
「シフト」を押しながら ▲、▼、◀、▶ で動かす。

お知らせ ●角度によっては操作できない場合があります。受光部に直射日光や照明の強い光が当たると、誤作動したり、動作しないことがあります。

画面表示の見かた 撮影時

すべての撮影に共通

ズーム倍率 (P.29)

オート撮影
(P.26 、42)

AGC(P.77)

ライト (P.44)

白バランス
(P.75)

明るさ補正
(P.46 、47)
逆光補正
スポット補正
数字 明るさ補正

プログラム AE(P.73)

ズーム (P.29)

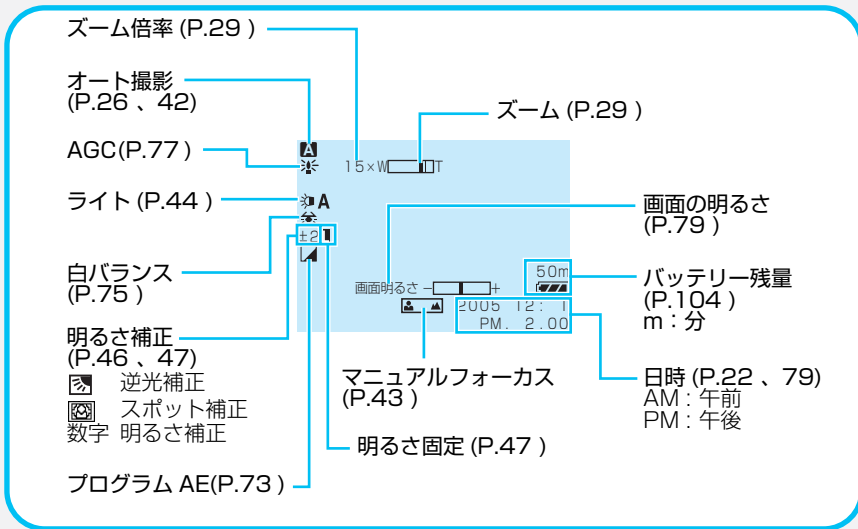
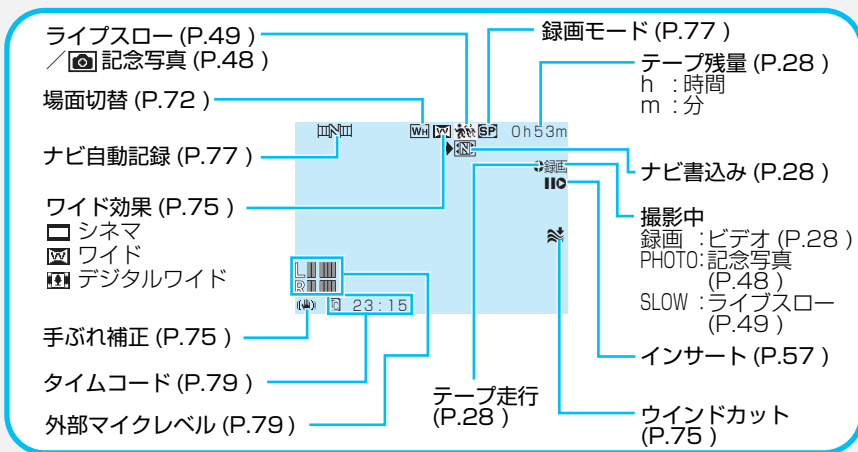
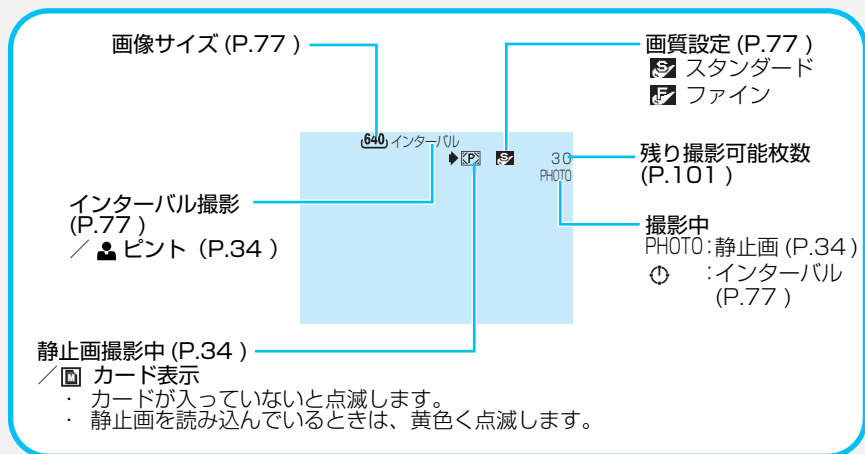
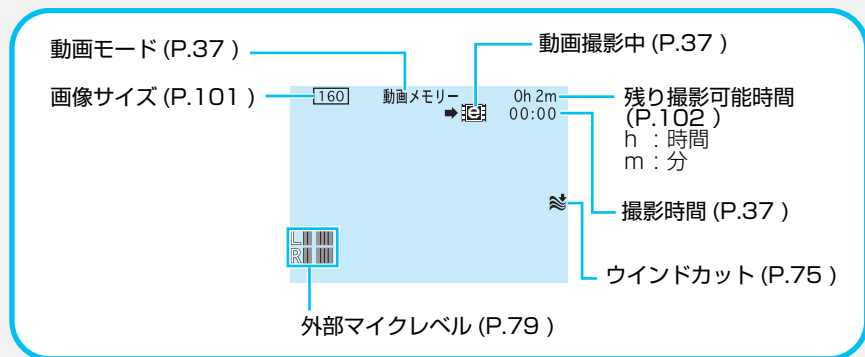
画面の明るさ
(P.79)

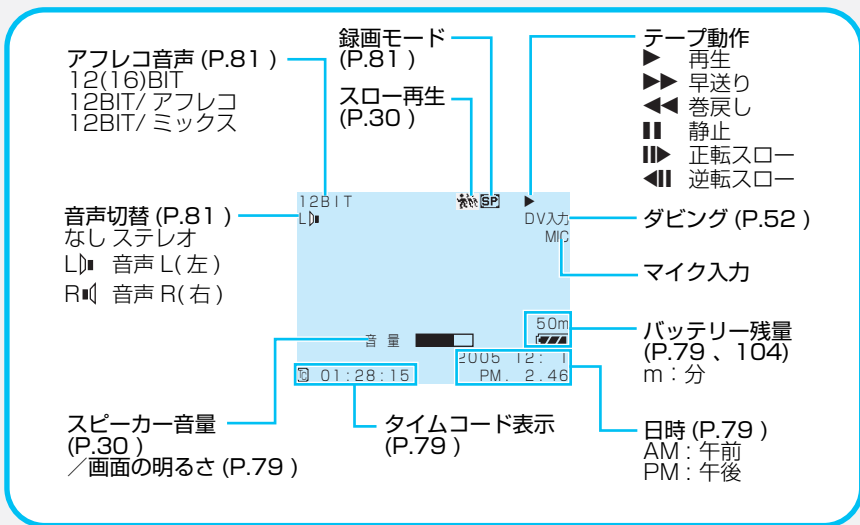
バッテリー残量
(P.104)
m：分

マニュアルフォーカス
(P.43)

日時 (P.22 、79)
AM：午前
PM：午後

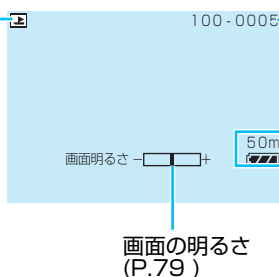
明るさ固定 (P.47)

15×W T
±2
画面明るさ −　+
50m
2005 12： 1
PM． 2．00

ムービー撮影 「ビデオ」に設定

静止画撮影 「メモリー」に設定

動画撮影 「メモリー」に設定

画面表示の見かた 再生時

ムービー再生 「ビデオ」に設定

■日付などの表示を消すには

メニューで次のように設定する (P.79)。

- 画面表示切替 :「切」または「モニター」
- 日時表示 :「切」
- タイムコード :「切」

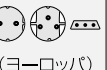
静止画再生 「メモリー」に設定

動画再生 「メモリー」に設定

■日付などの表示を消すには

インフォボタン（P.8 ）を押す。もう一度押すと、元の画面に戻る。

日常のお手入れ／海外で使うときは

お手入れのまえに、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 **ご注意** ●ベンジンやシンナーは使わない。損傷や故障の原因になります。 ●化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ●ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因になります。

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

訪問国にあった変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

次の訪問国では、現地のテレビでも再生できます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」(P.39)をご覧ください。

■アメリカ合衆国　■エクアドル　■エルサルバドル　■カナダ
■韓国　■キューバ　■グァテマラ　■グアム
■コスタリカ　■コロンビア　■スリナム　■台湾
■トリニダード・トバコ　■ドミニカ　■ニカラグア　■ハイチ
■バハマ　■バミューダ　■バルバドス　■パナマ
■フィリピン　■プエルトリコ　■米領サモア　■ベネズエラ
■ペルー　■ホンジュラス　■ボリビア　■メキシコ
■ミクロネシア　■ミャンマー　■チリ

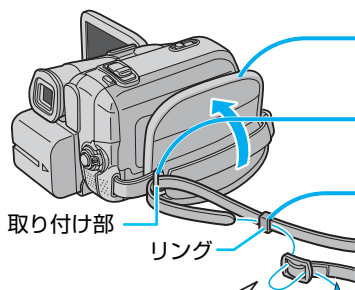
準備する　1

付属品を取り付ける

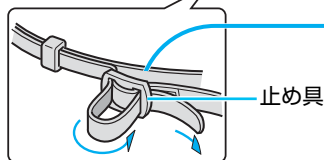
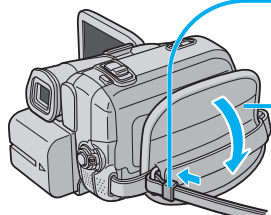
ショルダーストラップを取り付ける

取り付け部

リング

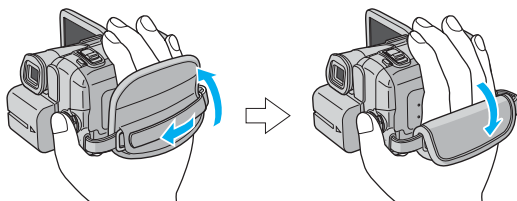
止め具

1 パッドをはがす

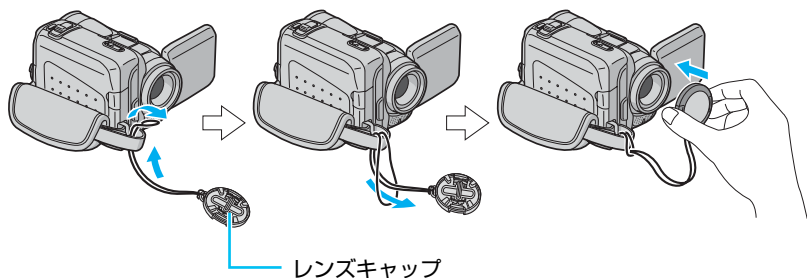
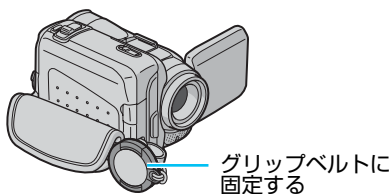
2 ショルダーストラップの先を取り付け部に通す

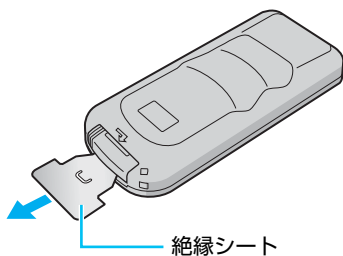
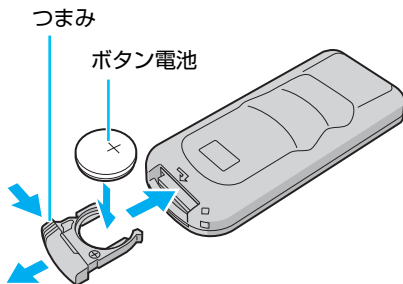
3 リングに通す

4 長さを調整して止め具で固定する

5 リングをショルダーストラップの取り付け部によせる

6 パッドを戻す

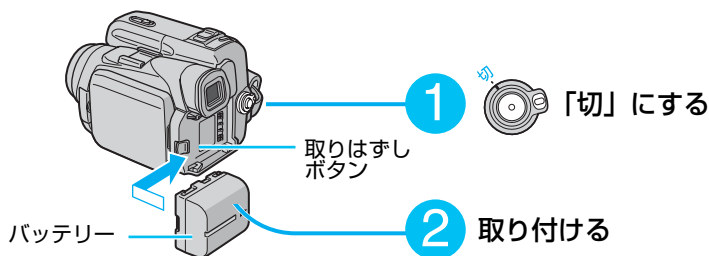
グリップベルトを調節する

軽くにぎって安定するように調節しておくと、長時間でも楽に撮影できます。

レンズキャップを取り付ける

撮影しないときは、レンズの保護のために取り付けます。

■撮影するときは

リモコンを準備する

リモコンから絶縁シートを引き出す。

■電池を入れ替えるときは
つまみを押して引き出し、新しいボタン電池に入れ替える。

電源を準備する

バッテリーを取り付ける

最初にバッテリーパック (バッテリー) を取り付けてください。

AC アダプターで充電する

AC アダプターを取り付けて、撮影のまえにバッテリーを充電してください。

切

1 「切」にする

2 開ける

3 差し込む

4 差し込む

電源ランプが点滅します

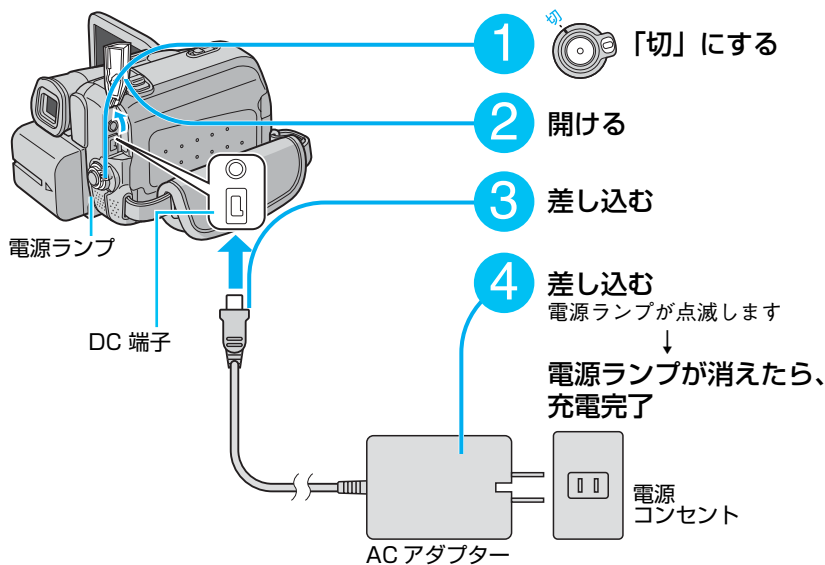
↓

電源ランプが消えたら、充電完了

電源ランプ

DC 端子

AC アダプター

電源
コンセント

■バッテリーを取りはずすには
「バッテリーを取り付ける」の手順 1 のあと、取りはずしボタンを押したまま、逆の動作で取りはずす。

■充電が終わったら
AC アダプターをビデオカメラと電源コンセントから抜く。

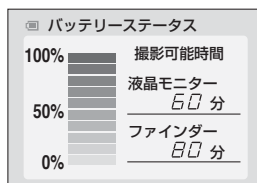
■自宅で使うときなどは
AC アダプターを取り付けると、バッテリーの残量を気にせずに使うことができる。

■充電時間の目安
「充電時間の目安」(P.103)

バッテリー残量を調べる

1 「切」にする

2 液晶画面を開ける
・ファインダーで確認するときは、液晶画面を閉じる

3 バッテリー残量と撮影可能時間を表示する
・約 3 秒間表示します。
・メニューボタンを約 2 秒間押し続けると、約 15 秒間表示します。

■通信エラーと表示されたときは
・メニューボタンを何度か押してみる。
・電源 (バッテリーと AC アダプター) を取りはずし、再び取り付け、メニューボタンを押してみる。
それでも通信エラーと表示されるときは、お買い上げ店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

■より正しいバッテリー残量を得るには
バッテリー残量を正しく表示していないと思ったときは、バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。
ただし、高温 / 低温で長時間使ったバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、この操作を行ってもバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

お知らせ ●撮影可能時間は目安です。30 分以上の場合は 10 分単位、30 分以内の場合は 5 分単位の表示になります。

準備する 3
テープとカードを入れる

テープを入れる

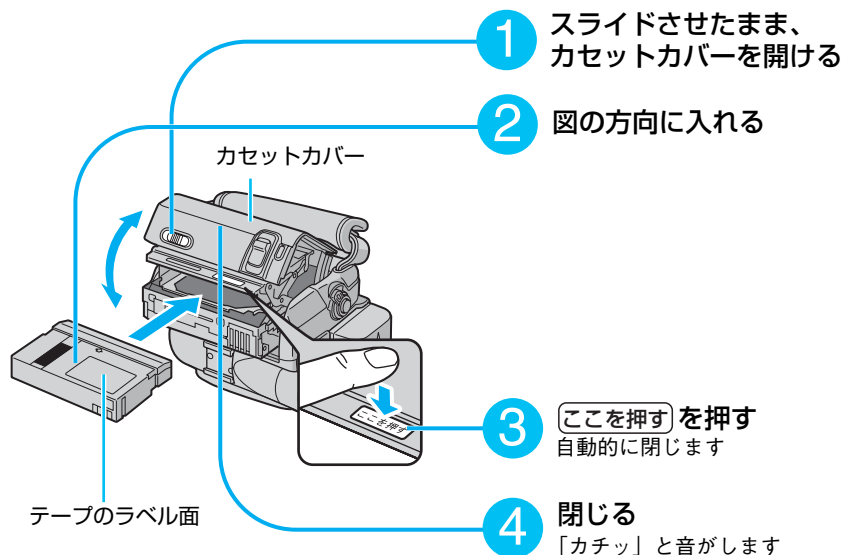
高画質の動画 (以下、ムービー) を撮影するには、ミニ DV カセットテープ (以下、テープ) を使います。

準備
- ●バッテリーを取り付ける (P.18)
- ●AC アダプターで充電する (P.18)

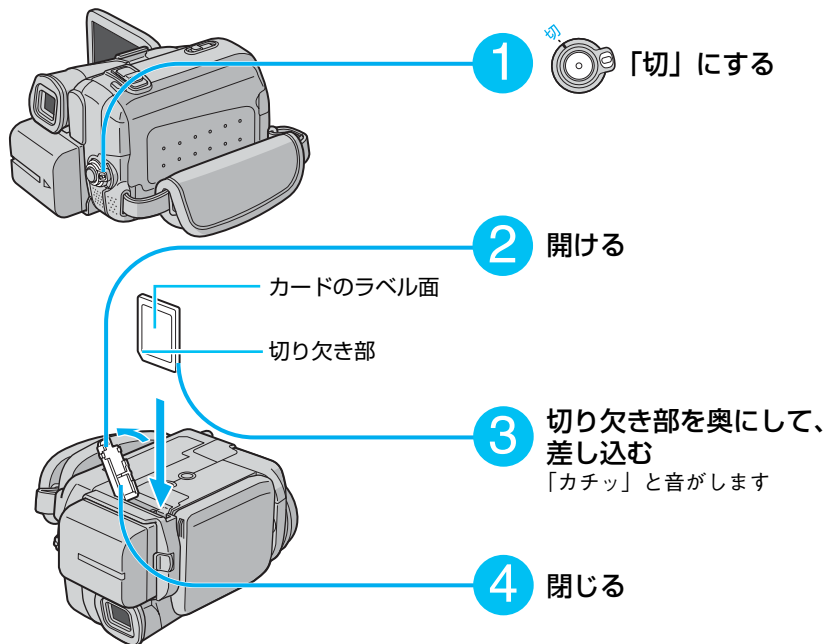
1 スライドさせたまま、カセットカバーを開ける

2 図の方向に入れる

3 ここを押す を押す
自動的に閉じます

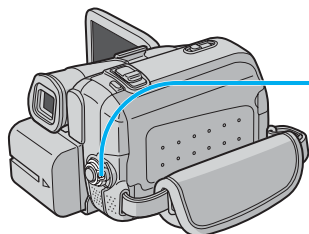
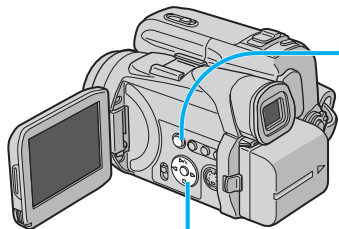
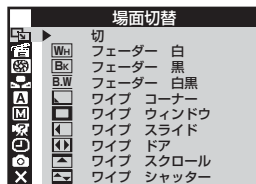
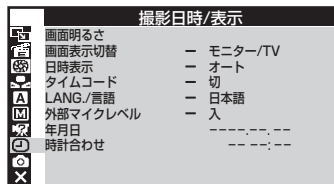
4 閉じる
「カチッ」と音がします

■テープを取り出すには
手順 1 のあと、テープを取り出し、手順 3 と手順 4 を行う。

カードを入れる

静止画を撮影するには、SD メモリーカードやマルチメディアカード (以下、カードと総称) を使います。

■カードを取り出すには
手順 2 のあと、カードを「カチッ」と音がするまで押し込み、取り出す。

■新しく買ったカードを使うには
はじめて使用するときは、「フォーマット」(P.64) が必要です。

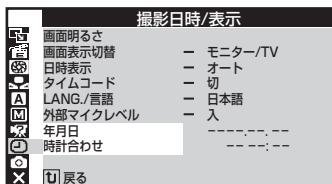
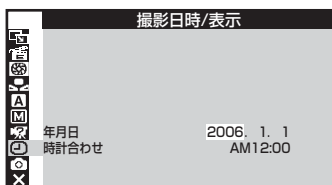
準備する 4 時計をあわせる

お買い上げ時に年月日と時刻表示を設定してください。
海外旅行の際には、現地の日時に設定することをお勧めします。

4 「年月日時計合わせ」を選び、

決定する
西暦が反転します

5 西暦を正しく設定し、

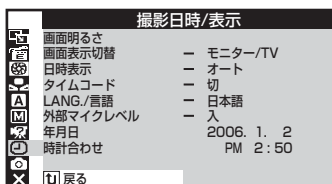
決定する

撮影日時/表示
年月日 2006. 1. 1
時計合わせ AM12:00

6 月日と時計の順に同様に設定し、

決定する

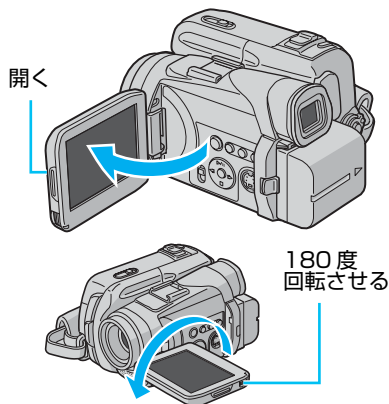
7 「戻る」を選び、

2 回決定する
撮影画面に戻ります

撮影日時/表示
画面明るさ
画面表示切替 ー モニター/TV
日時表示 ー オート
タイムコード ー 切
LANG./言語 ー 日本語
外部マイクレベル ー 入
年月日 2006. 1. 2
時計合わせ PM 2:50
戻る

お知らせ ●時刻を設定しても「日時を設定して下さい」と表示され続けるときは、時計用の内蔵電池が消耗しています。お買い上げの販売店、または最寄りのビクターサービス窓口へご連絡ください。

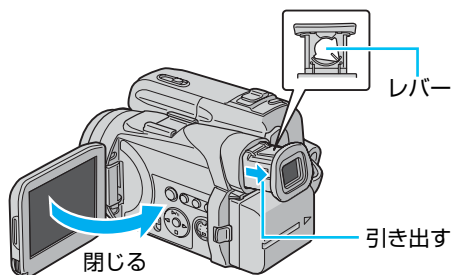
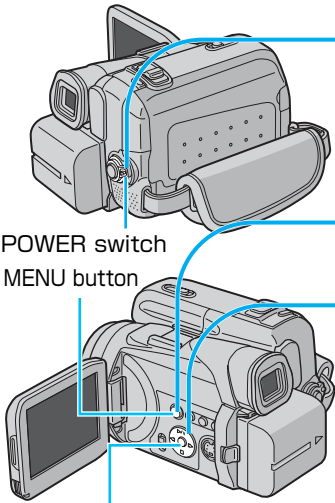
画面を準備する

液晶画面を使う

ファインダーと比べて、映像や表示内容が大きくて見やすい特徴があります。

■画面の明るさを調節するには
「画面明るさ」(P.79)

■自分を撮るには
液晶画面を開いたあと、図の方向へ
180 度回す。
元に戻すときは、逆の方向へ回す。

ファインダーを使う

周りが明るすぎて液晶画面が見えにくいときや、バッテリーの消耗を防ぎたいときに使います。

■文字にピントがあっていないときは
ファインダーをのぞきながらレバーを動かし、文字がはっきり見えたところで止める。

■画面の明るさを調節するには
「画面明るさ」(P.79)

お知らせ ●液晶画面を開いてファインダーを引き出している場合、液晶画面のみ表示されます。液晶画面を消してファインダーを表示させるには、メニューの「優先設定」を「ファインダー」に設定します (P.83)。

For English Users

To change the Menu indications etc. to English.

POWER switch

MENU button

UP and DOWN button
SET button

1 Set the POWER switch to "M" while pressing down the LOCK button located on the switch.

M

Lock button

2 Press MENU button.

メニュー/データ

3 Press UP or DOWN button to select "[clock icon]"

and press SET button.

撮影日時/表示

画面明るさ		
画面表示切替	ー	モニター/TV
日時表示	ー	オート
タイムコード	ー	切
LANG./言語	ー	日本語
外部マイクレベル	ー	入
年月日		2006. 1. 2
時計合わせ		PM 2 : 50

Press UP or DOWN button to select "LANG."

and press SET button.

5 Press UP or DOWN button to select "ENGLISH"

and press SET button.
The Menu indication changes to ENGLISH.

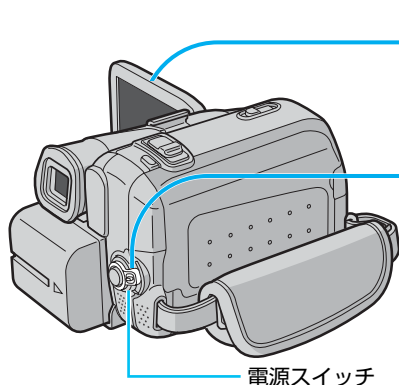
Press SET button twice.

The Menu screen closes.

すぐ使う 1

撮影・再生の基本操作

撮影・再生・編集など、すべての場面に共通する操作です。以降のページでは、これらの操作説明を 準 備 として省略する場合があります。

電源を入れる 電源スイッチ

1 液晶画面を開く
（またはファインダーを引き出す）

2 押したまま回して、
マークにあわせる

電源スイッチ

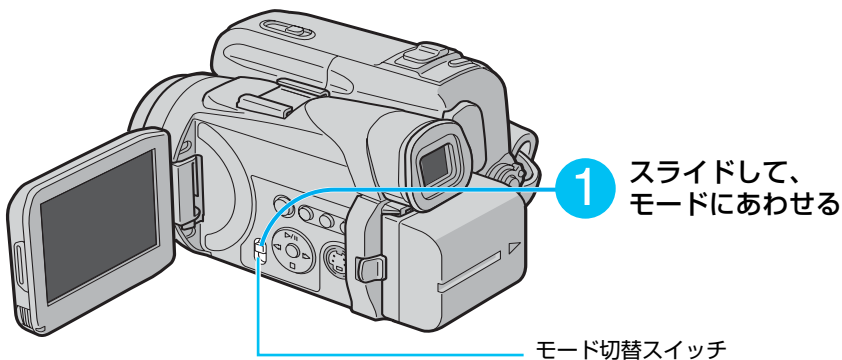
●手軽に撮るとき（オート撮影）
「撮影」にあわせる。

●設定して撮るとき（マニュアル撮影）
「M」にあわせる。(P.42)

●再生や編集するとき
「再生」にあわせる。

■電源を切るには
電源スイッチを回して、「切」にあわせる。

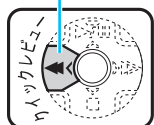
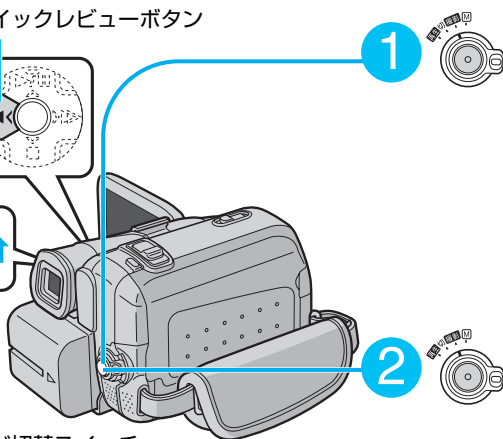
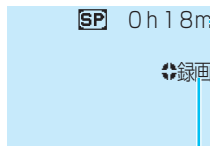
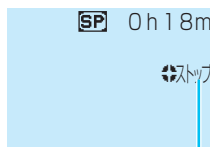
お知らせ ●電源スイッチが「撮影」や「M」のときは、液晶画面の開閉やファインダーの出し入れで、電源の入／切ができます（クイックパワーオフ）。

テープ／カードを選ぶ モード切替スイッチ

●ムービーを撮るとき／見るとき
「ビデオ」にあわせる。

●静止画や動画を撮るとき／見るとき
「メモリー」にあわせる。

すぐ使う 2

ムービーを撮る

準備 ●電源スイッチ　　　　：「撮影」または「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

■頭出し位置を指定するには
停止中に書込みボタン (P.8) を押す。または、メニューで「ナビ」を設定して自動的に記録する (P.77)。

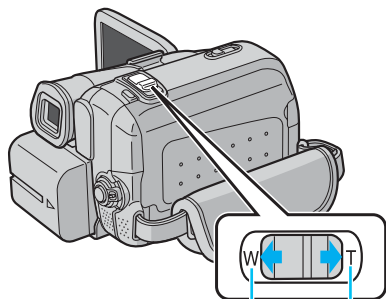
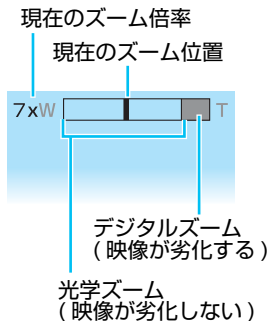
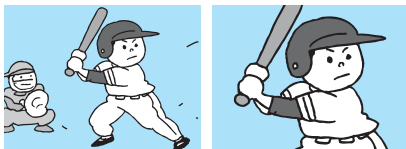
■続きから撮るには
ブランクサーチする (P.81)。

■撮影のまえに直前のムービーを確かめるには
クイックレビューボタン (◀◀) を押す。数秒分のテープが巻戻って再生され、再生が終わると元の状態に戻る。

お知らせ ●節電とテープ保護のため、操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチを動かすか、液晶画面を一度閉じて再び開きます。
●テープ残量が表示されるまで、撮影開始から約 10 秒かかります。

大きく／広く撮る ズーム

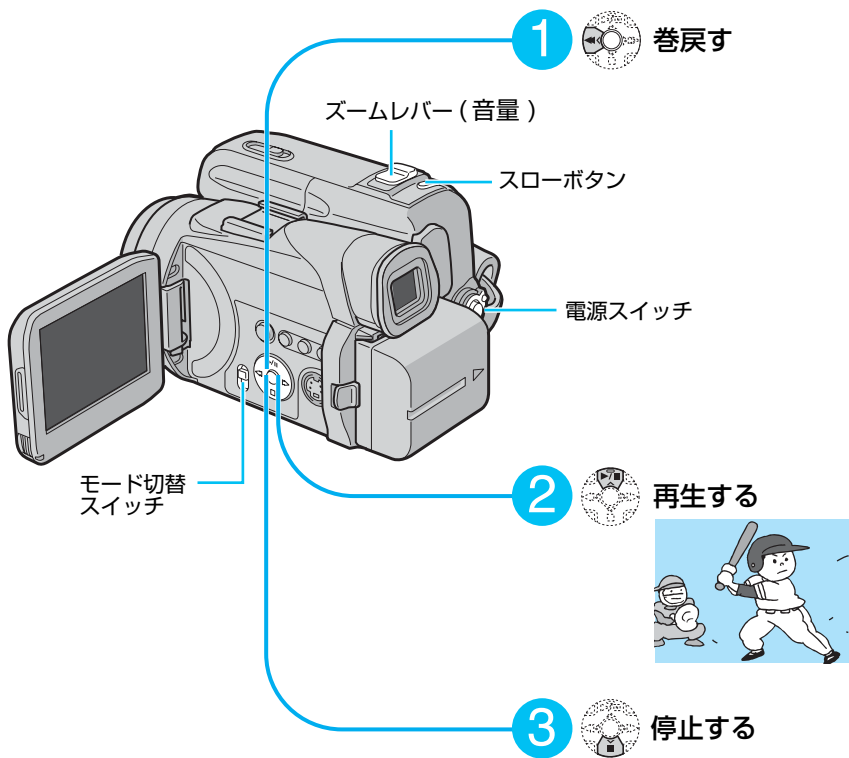
被写体を大きくしたり (望遠：T)、撮影する範囲を広くしたり (広角：W)、撮影中に自由に調節できます。

準 備
●電源スイッチ　　　　　:「撮影」または「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

■接写するには
W 側いっぱいまで動かす。被写体に約 5cm まで接近できます。

■デジタルズームを使わずに撮るには
メニューで「ズーム」を「15 倍」に設定する (P.77)。

■静止画を撮るときは
光学ズーム (15 倍まで) のみを使って撮影できます。

すぐ使う 3 ムービーを見る

準 備 ●電源スイッチ　　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

■スピーカーの音量を調節するには
ズームレバーを動かす。

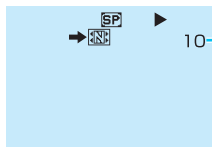
■スローモーション効果を楽しむには
メニューで「静止画 / スロー」を「スロー」に設定し (P.77)、再生時にスローボタンを押すと、約 1.5 秒間、1/4 倍速のスローモーションで再生する。

頭出しの位置を指定する ナビ書込み

ナビ機能で頭出しをするには、頭出し位置（ナビ画像）を指定する必要があります。ナビ画像はカード内に記録されますので、テープとカードは必ず同じ組み合わせでお使いください。

1 再生する

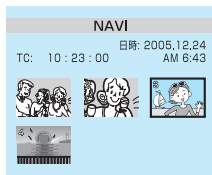
2 頭出し位置にする映像が表示されたら、

指定する

■誤って指定したときは
ナビ画像を削除する（P.32）。

一覧から頭出しする ナビ

書き込んだナビ画像の一覧から再生したい場面を選ぶだけで、簡単に頭出しができます。

1 再生を停止する

2 インデックス ナビ画像のインデックスを表示する

3 再生する場面を選び、

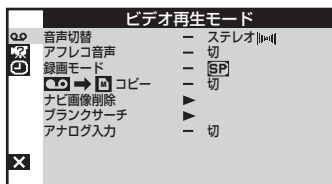
決定する

■一覧表示を終えるには
インデックスボタンを押す。

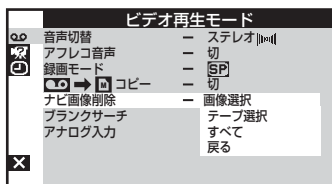
頭出しの位置指定を消す ナビ画像削除

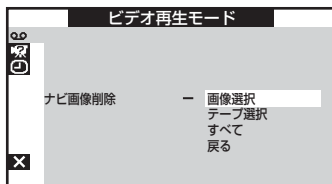
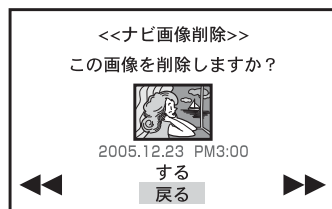
不要となったナビ画像を削除します。削除したナビ画像は、元に戻せません。

メニューを表示する

2「[テープアイコン]」を選び、

決定する

3「ナビ画像削除」を選び、

決定する

4「画像選択」を選び、

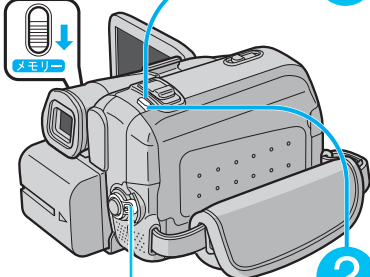
決定する

5 削除するナビ画像を選ぶ

「する」を選び、

決定する

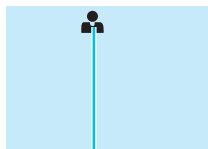
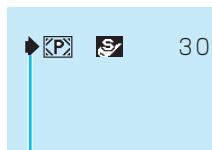
■削除を終えるには
手順６で「戻る」を選んで決定し、「[戻る] 戻る」を選んで決定し、終了アイコン ([×]) を選んでメニューを消す。

■テープのナビ画像をすべて削除するには
手順３で「テープ選択」を選んで決定し、「する」を選んで決定する。

■ナビ画像をすべて削除するには
手順３で「すべて」を選んで決定し、「する」を選んで決定する。

お知らせ ●削除中にカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障の原因となります。

すぐ使う 4

静止画をカードに撮る

準備
- 電源スイッチ　　　　：「撮影」または「M」
- モード切替スイッチ：「メモリー」

■撮った静止画をすぐ見るには
電源スイッチを「再生」にする。

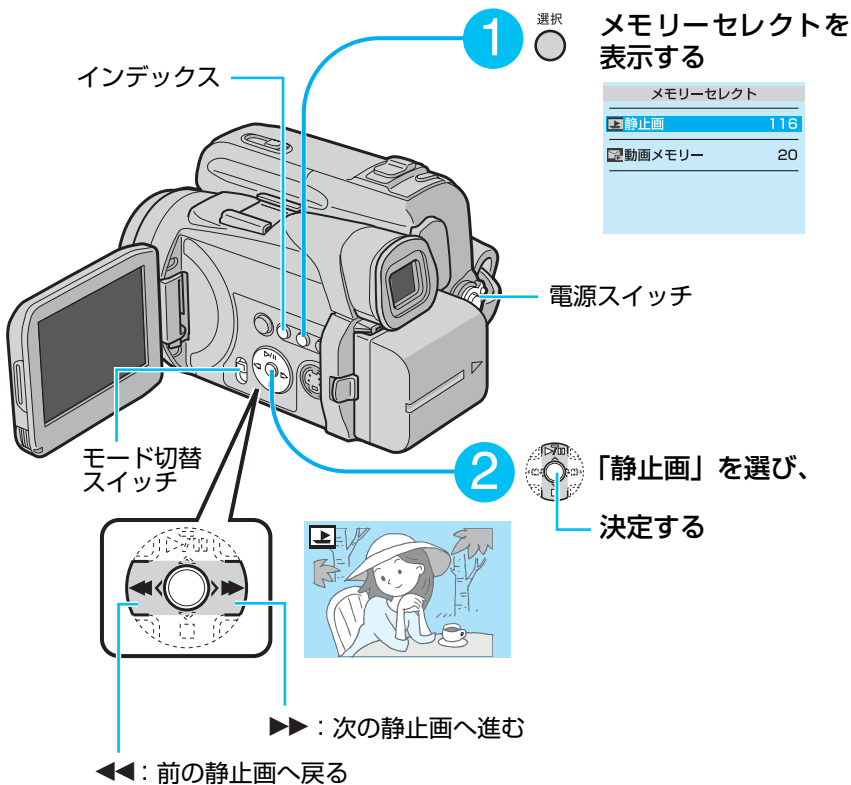
■より多く撮るには
画質や画像サイズを変更する (P.77)。

■ズームするには
ズームレバーを動かす (P.29)。

■定期的に静止画を撮るには
インターバル撮影する (P.77)。

お知らせ
- 節電のため、操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチを動かすか、液晶画面を一度閉じて再び開きます。
- 撮影可能枚数は、お使いのカードの容量や、静止画の画質やサイズによって変わります (P.101)。
- 静止画は、付属の USB ケーブルを使ってパソコンに取り込むことができます (P.65)。インターバルショットについては、別冊の『取扱説明書 インストール編』をご覧ください。

すぐ使う 5 静止画を見る

準 備 ●電源スイッチ　　　　　:「再生」
●モード切替スイッチ:「メモリー」

1 メモリーセレクトを表示する

2「静止画」を選び、決定する

▶▶:次の静止画へ進む

◀◀:前の静止画へ戻る

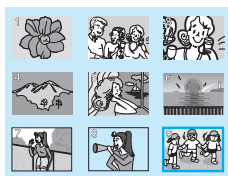
続けて再生する スライドショー

1 スライドショーを始める

2 停止する

■逆方向に再生するには
スライドショーの再生中に「◀◀」ボタンを押す。

一覧で表示する インデックス

1 インデックス インデックスを表示する

2 静止画を選び、

決定する

すぐ使う 6

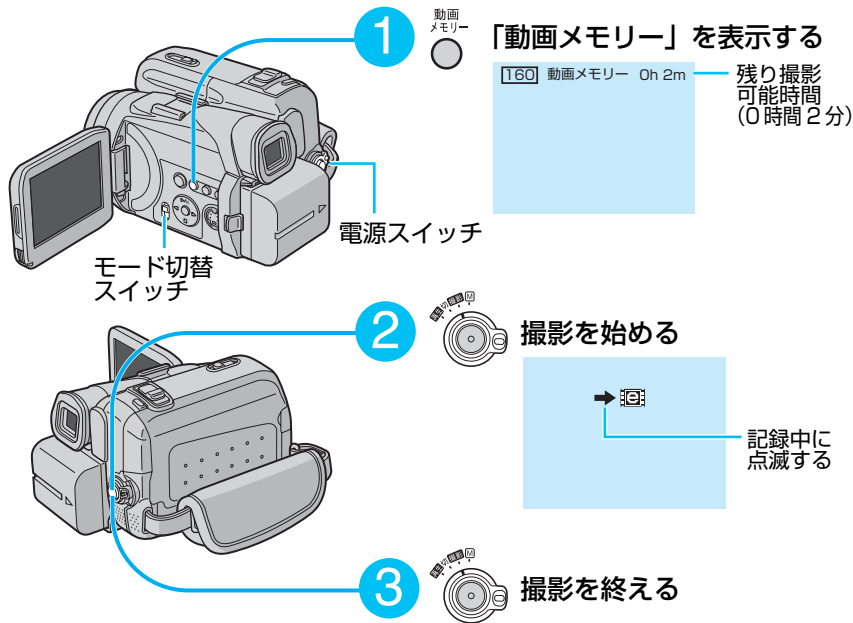
動画をカードに撮る

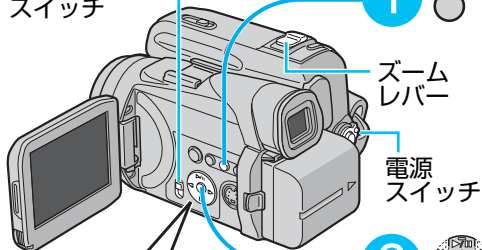
カードに動画を撮影できます。パソコンに取り込んでメールで送る用途に適しています。

準備
●電源スイッチ　　　　:「撮影」または「M」
●モード切替スイッチ:「メモリー」

1 「動画メモリー」を表示する

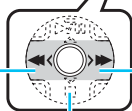
2 撮影を始める

3 撮影を終える

■ムービー撮影に戻すには
動画メモリーボタンを押して、「動画メモリー」の表示を消す。

お知らせ
●残り撮影可能時間がなくなった場合は、自動的に撮影を停止します。画面の表示にご注意ください。
●動画は、付属の USB ケーブルを使ってパソコンに取り込むことができます (P.65)。
●画像サイズは 160 × 120 ドットで撮影されます。
●1 回の記録時間は最大 3 分です。

すぐ使う 7 動画を見る

●電源スイッチ　　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「メモリー」

メモリーセレクトを表示する

「動画メモリー」を選び、決定する

再生する

■スピーカーの音量を調節するには
ズームレバーを動かす。

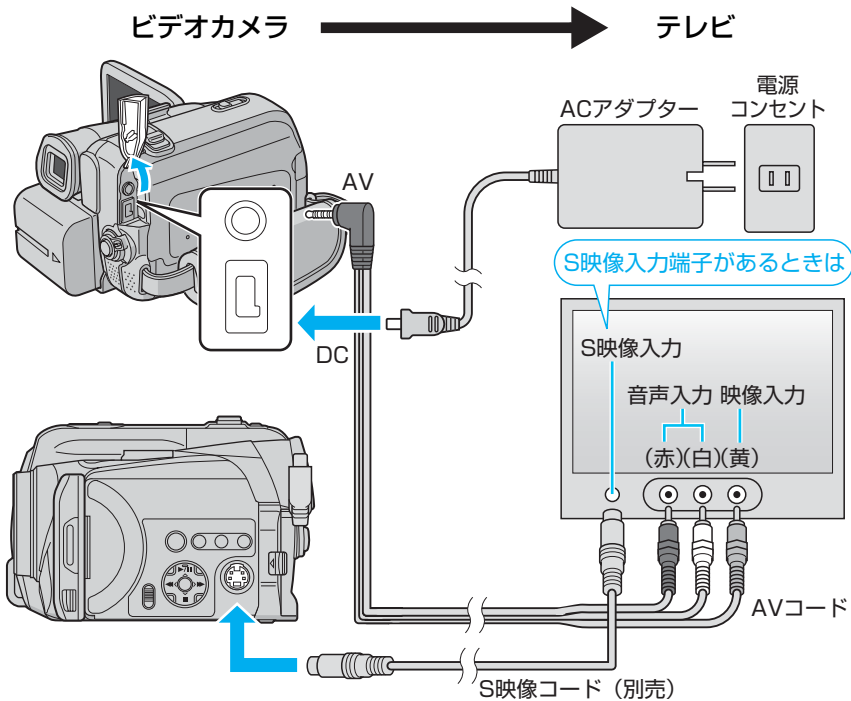
■停止するには
停止ボタン（■）を押す。

一覧で表示する インデックス

インデックスを表示する

静止画を選び、決定する

すぐ使う 8 テレビで見る

準備 ●テレビの表示を、ビデオカメラを接続した外部入力 (ビデオ 1、ビデオ 2 など) にあわせる

■再生するには
ビデオカメラで見るときと同じ操作で再生する。ムービー (P.30)、静止画 (P.35)、動画 (P.38)。

■日付などを表示するには
メニューで「画面表示切替」を設定する (P.79)。

お知らせ ●お使いのテレビの説明書もあわせてご覧ください。

もっと撮る 1 撮影効果を演出する

マニュアル撮影（P.42）では、目的やシーンにあわせて撮影できます。効果の種類や設定方法については、「撮影効果メニュー」（P.72）をご覧ください。

始まりにひと工夫！

ワイプインで映像が登場

「ワイプ：ウインドウ」

スポーツには！

動きは速くてもハッキリ撮れる

「スポーツ」

シーンを印象的に！

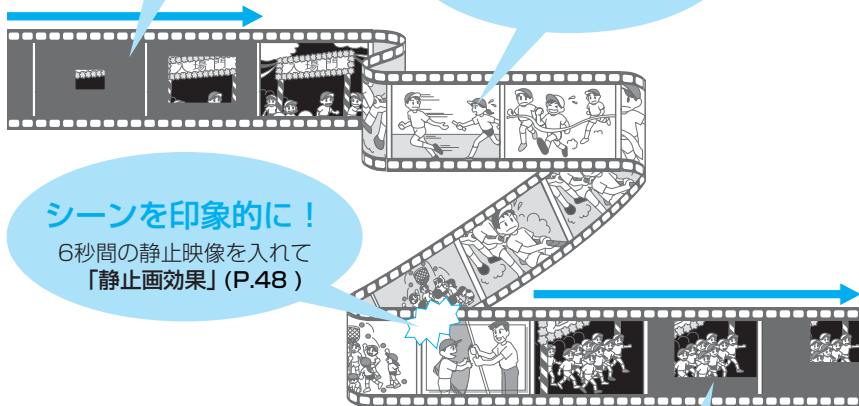
6秒間の静止映像を入れて

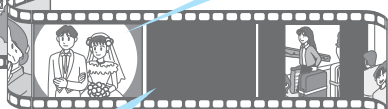
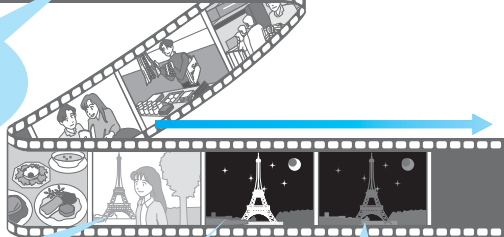
「静止画効果」（P.48）

終わりにひと工夫！

ワイプアウトで映像も退場

「ワイプ：コーナー」

色々な効果を液晶画面で見るにはデモモードが便利！（P.83）

シーンの幕開けは…
フェードインで美しく演出
「フェーダー：白」

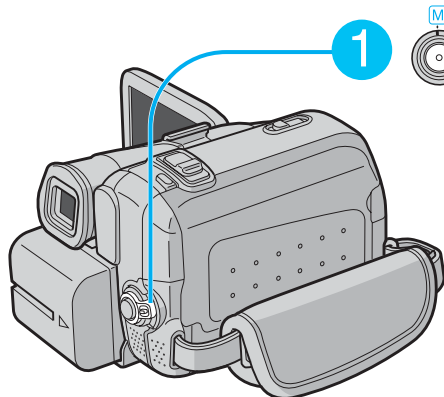
スポットライト
照明の中の人物を美しく！
「スポットライト」

違う場面の境目に
続けて撮っても自然につながる
「ワイプ：シャッター」

セピア色の思い出
古い映画の雰囲気で…
「セピア」

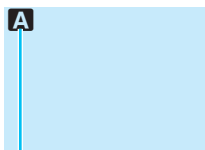
シーンの幕引きに…
フェードアウトで更けてゆく夜を
「フェーダー：黒」

夜景もキレイ！
自然な映像で
「夜景」

もっと撮る 2

マニュアル撮影をする

ピントを手動で調節したいときや、映像に効果 (エフェクト) を加えて撮影したいときなどは、あらかじめマニュアル撮影に切り替えます。

1 押したまま回して、「Ⓜ」にあわせる

「撮影」から「Ⓜ」に切り替えると、画面からオート撮影アイコンが消えます

2 調節または設定する

・ ピントを手動であわせる (P.43)
・ 暗いところで撮る (P.44)
・ 明るさを補正する (P.46)
・ 映像に変化をつける (P.48 , 72)
・ その他を設定する (P.74)

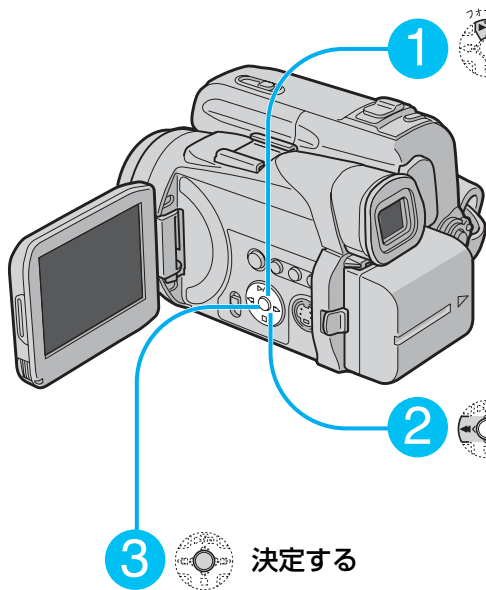
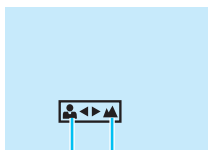
3 撮影する

・ ムービーを撮る (P.28)
・ 静止画をカードに撮る (P.34)
・ 動画をカードに撮る (P.37)

お知らせ ●手順 2 の調節および設定は、電源スイッチを「撮影」にあわせると一時的に解除されます。しかし、電源スイッチを「Ⓜ」に戻すと、再び同じ条件で撮影できます。

ピントを手動であわせる

通常の自動撮影（オートフォーカス）でピントがあいにくい場合や、画面端の被写体にピントをあわせたいときなどに行います。

準備
●電源スイッチ　　　　：「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

■オートフォーカスに戻すには
フォーカスボタン (▶/II) を押して表示を消す。

■ズームするときは
望遠（T）側でピントをあわせてから広角 (W) 側にズームすると、ピントがずれない。

もっと撮る 4

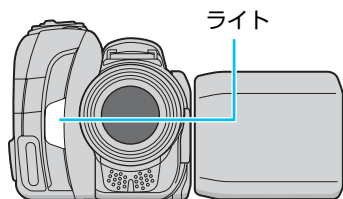
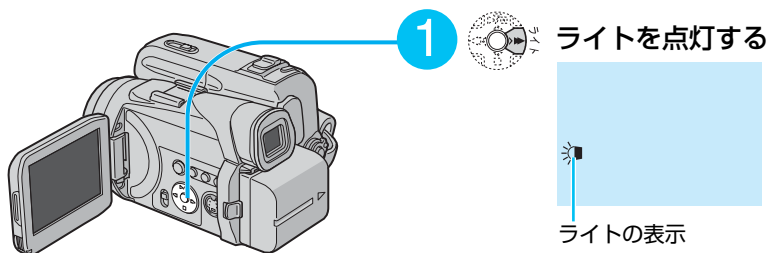
暗いところで撮る

次の 2 つの機能は、それぞれを単独で使うことも、併用することもできます。

ライトで照らす

ご注意 ●ライトを直視しないでください。特に、小さなお子さまの目に光が直接入らないようにご注意ください。

準備
●電源スイッチ　　　　：「撮影」または「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

1 ライトを点灯する

2 次の 2 つに注意して撮影する
・画面の中央に被写体をおく
・ライトを指で隠さない

■暗いときに自動的に点灯させるには
ライトボタン（▶▶）を押して表示を「A」にする。

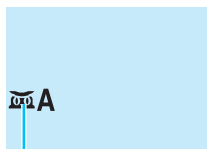
■ライトを消すには
が消えるまで、ライトボタン（▶▶）を押す。

お知らせ ●シャッタースピードが遅くなるためにブレやすくなります。三脚などで固定することをお勧めします。

ナイトアイを使う

薄暗いところでは、より多くの光を取り込んで明るく撮影できます。

準 備
●電源スイッチ　　　　：「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

1 メニューで「ナイトアイ」を設定する（P.73 ）

ナイトアイの表示

2 撮影する

■明るいときは
表示から「A」が消え、一時的に通常の撮影に戻る。

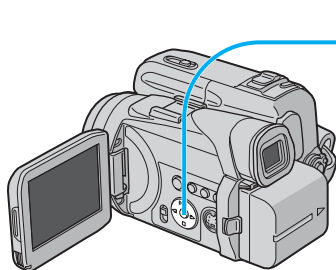
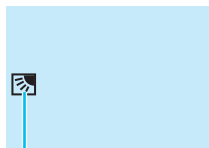
■通常の撮影に戻すには
メニューで「ナイトアイ」を設定してを消す（P.73 ）。

お知らせ
●シャッタースピードが遅くなるためにブレやすくなります。三脚などで固定することをお勧めします。
●真っ暗な場所では撮影できません。

もっと撮る 5 明るさを補正する

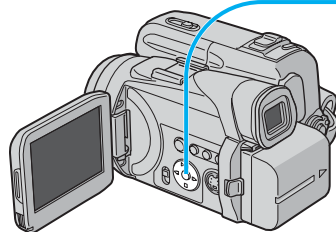
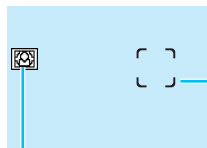
逆光で撮る 逆光補正

被写体の背後から光がさしているとき、被写体が暗くならないようにします。

準備
- 電源スイッチ　　　　：「M」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

■通常の撮影に戻すには
や が消えるまで、逆光補正ボタン（■）を押す。

最適な明るさにする スポット補正

逆光補正がうまくいかないときや、画面の一部にあわせて明るさを補正したいときなどに使います。

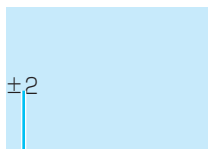
準備
- 電源スイッチ　　　　：「M」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

スポット枠を左右に動かして明るさの基準にする場所を選び、決定する

■通常の撮影に戻すには
[icon] や [icon] が消えるまで、逆光補正ボタン (■) を押す。

■明るさを固定するには
手順 2 で決定ボタンを 2 秒以上押し続け、[icon] の隣に L を表示させる。

手動で明るさを補正する

準 備
●電源スイッチ　　　　：「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

1 メニューで「明るさ補正」を「マニュアル」に設定する (P.74)

明るさ補正の表示 (－6 ～＋ 6)

2 数値を調節し、決定する

■通常の撮影に戻すには
メニューで「明るさ補正」を「オート」に設定する (P.74)。

■明るさを固定するには
手順 2 で決定ボタンを 2 秒以上押し続け、明るさ補正の数値の隣に L を表示させる。
続いて、もう一度決定ボタンを押し、L を L にする。

映像に変化をつける

静止画効果を入れる 記念写真

ムービーに静止映像を入れて、印象的な写真のような効果を出すことができます。

準 備
- 電源スイッチ　　　　：「撮影」または「M」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」

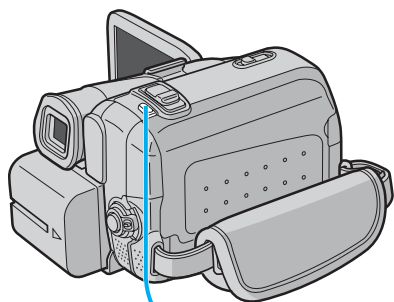
1 メニューで「静止画」を設定する (P.77)

フル

ネガ

ピンナップ

フレーム

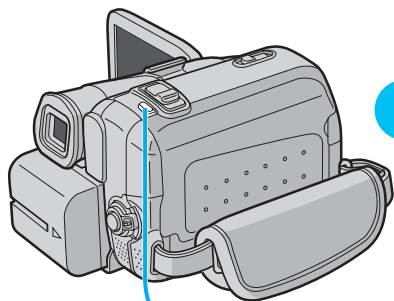
2 静止画/スロー

撮影する
押した瞬間の画像が、6 秒間、静止したまま録画されます

■連写するには
「静止画」ボタンを押し続ける。

■同時にカードにも撮るには
メニューで「記録選択」を設定する (P.77)。

スローモーション効果を入れる ライブスロー

ムービーにスローモーション効果を入れることができます。

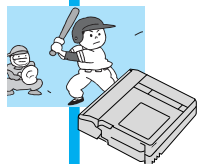
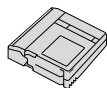
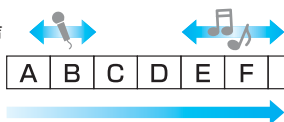
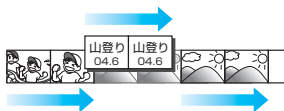
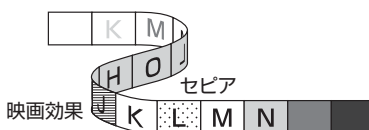
準 備
●電源スイッチ　　　　:「撮影」または「M」
●モード切替スイッチ:「ビデオ」

1 メニューで「スロー」を設定する (P.77)

2 撮影する
押してから約 1.5 秒間、1/4 倍速のスローモーションが録画されます

その他の効果を入れる

場面の変わり目でフェードインさせたり (場面切替)、古い写真のようにセピア色の映像を撮影したり (プログラム AE)、いろいろな効果を入れることができます (P.72 、73)。

いろいろな編集

テープに撮影したムービーは、いろいろな方法で編集できます。映像を直接加工したり、ダビングやコピーしたりできます。

編集のしくみ	ページ
●元の音声はそのまま、 ナレーションや BGM を追加! ●再生する音声も後から選べる。	P.56 P.58
●元の映像の上に、 タイトルや場面を挿入!	P.56 P.57
●効果をつけた映像をダビング! ●場面の切れ目を自然に… ●アップや雰囲気づくりも簡単。	P.10 P.52
●不要な場面は 飛ばしてダビング!	P.10 P.52
●写真プリントができる! ●パソコンに取り込んで、 メールやホームページに活用!	P.59 P.65
●お気に入り場面を選んで動画に! ●パソコンに取り込んで、 メールやホームページに活用!	P.60 P.65

ダビングする

ビデオカメラのテープから、ビデオ機器のディスクやテープへダビング (複製) して保存できます。

接続する

準 備 ●電源スイッチ　　　　：「切」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

■デジタルダビングするときは
ビデオカメラの DV 端子と、ビデオ機器の DV 入力端子を、DV ケーブル (別売) で接続する。AV コードは使いません。
デジタルダビングでは、設定した効果やタイムコードはダビングされません。

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

ダビング（複製）する

再生側（ビデオカメラ）	録画側（ビデオ機器）
	（ビクター製ビデオデッキの場合）

1 「再生」にする
電源が入ります

●映像に効果をつけるには
リモコンの「演出効果」を押して効果を選ぶ。

2 再生する
●選んだ効果を消すには
リモコンの「入／切」を押す。

●再生画面をズームするには
リモコンの「T」（大きく）や「W」（広く）を押す。

3 「録画」ボタンでダビングを始める
●飛ばしたい場面があるときは
「一時停止」ボタンで止め、「再生」ボタンで録画を再開する。

4 「停止」ボタンでダビングを終える

5 再生を終える

■日付などの表示を消すには
手順 1 のあと、メニューで次のように設定する (P.79)。
・画面表示切替：「切」または「モニター」
・日時表示　　：「切」
・タイムコード：「切」

（お知らせ）●ビデオカメラで無記録部分や映像の乱れた部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

編集する 3 ビデオ機器から録画する

今までにビデオ機器で録りためたビデオテープやテレビの映像などを、ビデオカメラのテープに録画できます。

接続する

準 備

- 電源スイッチ　　　　：「切」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」

再生側（ビデオ機器）→ 録画側(ビデオカメラ)

電源コンセント

ACアダプター

DV

AV

DC

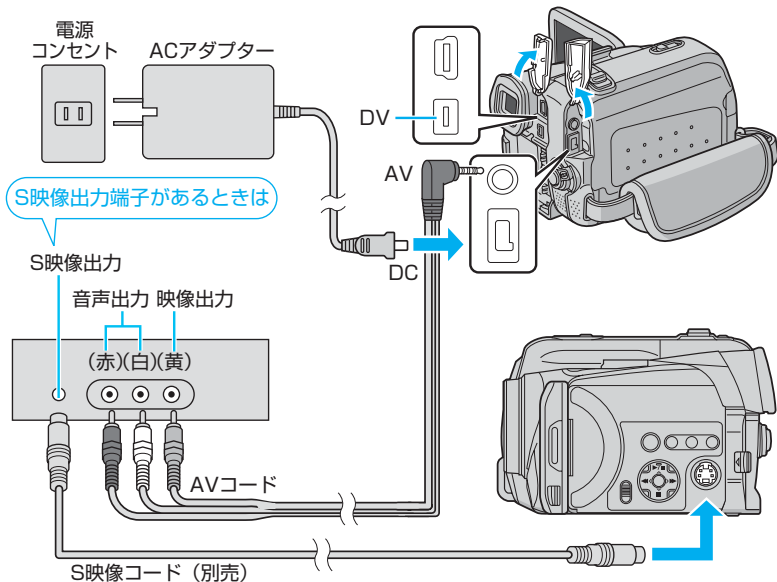
S映像出力端子があるときは

S映像出力

音声出力 映像出力

(赤)(白)(黄)

AVコード

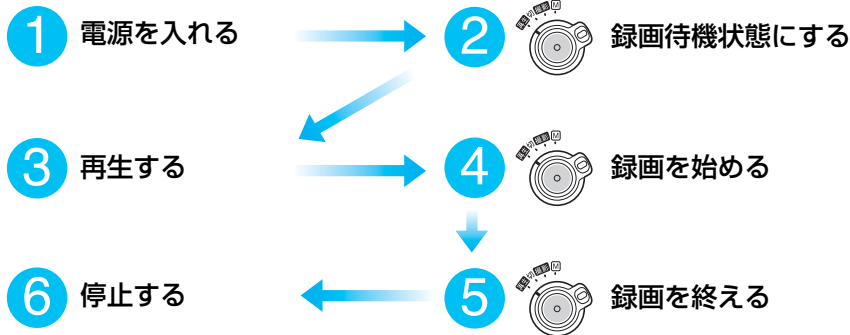
S映像コード（別売）

1 図のように接続する

「再生」にする

3 メニューで「アナログ入力」を「入」に設定する（P.81 ）

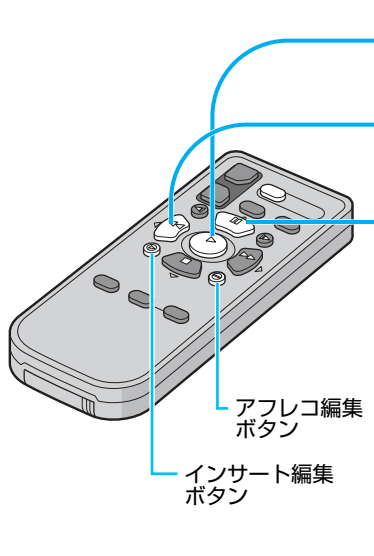
■デジタルで録画するときは
ビデオカメラの DV 端子と、ビデオ機器の DV 出力端子を、DV ケーブル (別売) で接続する。AV コードは使いません。
メニューで「アナログ入力」を「切」に設定する (P.81)。

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

再生側 (ビデオ機器)	録画側 (ビデオカメラ)
	2 録画待機状態にする
1 電源を入れる →	
3 再生する →	4 録画を始める
6 停止する ←	5 録画を終える

お知らせ ●お使いのビデオ機器などや再生するテープにより、映像が乱れることがあります。
●「アナログ入力」を「入」に設定していると、再生時に映像が乱れることがあります。

編集する 4 映像や音声を追加する

追加の準備をする

ムービーに映像や音声を追加するときは、あらかじめ次の操作を行います。

準備
- 電源スイッチ　　　：「再生」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」
- 付属のリモコンを用意する

1 撮影、再生の両方のメニューで「タイムコード」を「入」に設定する (P.79)

2 再生する

3 追加を終える位置まで巻戻す

4 一時停止し、タイムコードを紙などに控える

5 追加を始める位置まで巻戻す

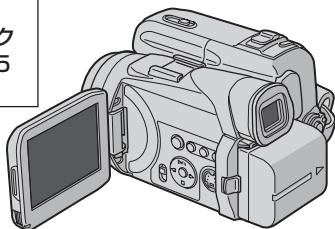
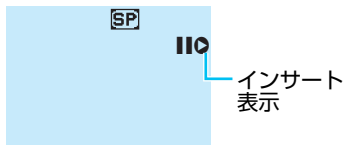
6 一時停止する
↓
インサート編集 (P.57)またはアフレコ編集(P.58)へ進む

お知らせ
- テープの無記録部分や誤消去防止ツマミが「SAVE」側になっている場合は、編集できません。

映像を追加する インサート編集

タイトルなど別の場面を、元の映像に上書きして追加できます。

お知らせ ●LP モード (P.77) で撮影したムービーには、映像を追加できません。

準 備 ●追加の準備をする (P.56)

1 [一時停止] を押したまま、[インサート] を押す
撮影待機になります

2 追加する映像を準備する

3 [スタート/ストップ] 撮影を始める

4 タイムコードが控えておいた数値 (追加を終える位置) になるときに、
[スタート/ストップ] 撮影を終える

5 [停止] 編集を終える

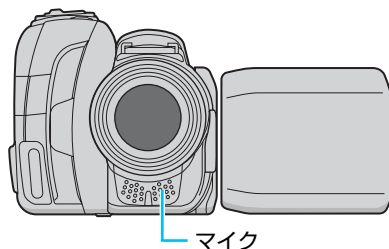
■追加する映像に効果をつけるには
メニューで「場面切替」や「プログラム AE」を設定する (P.72)。

音声を追加する アフレコ編集

ナレーションやBGM、効果音などを追加できます。再生時には、元の音声と追加した音声を選んで再生できます。

お知らせ ●LP モードや 16BIT(P.77) で撮影したムービーには、音声を追加できません。

準 備 ●追加の準備をする (P.56)

1 **を押したまま、⊖(アフレコ) を押す**

撮影待機になります

2 (▶ 再生) **録音を始める**

3 **タイムコードが控えておいた数値 (追加を終える位置) になるときに、**

(■ 停止) **録音を終える**

■追加した音声を聞くには

メニューで「アフレコ音声」を「入」または「ミックス」に設定する (P.81)。

編集する 5 カードにコピーする

静止画としてコピーする

ムービーからお好みの場面を選び、静止画としてカードにコピーします。

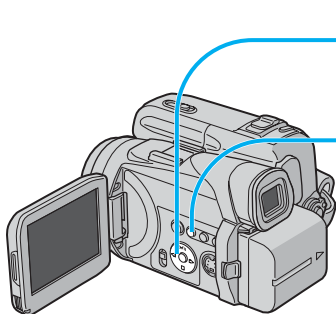
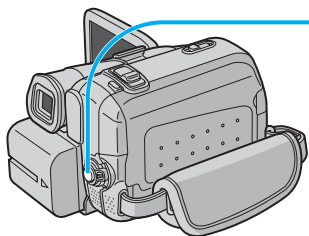
準備
- ●電源スイッチ　　　　：「再生」
- ●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 メニューで「⇒コピー」を「入」に設定する（P.81 ）

お知らせ
- ●コピー後の画像サイズは、640 × 480 ドットです。
- ●静止画は、付属の USB ケーブルを使ってパソコンに取り込むことができます（P.65 ）。

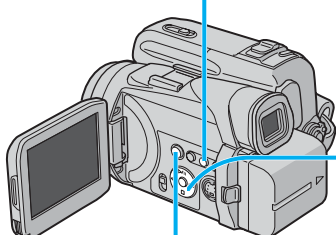
動画としてコピーする

ムービーからお好みの場面を選び、動画としてカードにコピーします。

準備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

■ムービー再生に戻すには
動画メモリーボタンまたは停止ボタン(■)を押して、「動画メモリー」の表示を消す。

お知らせ
●コピー中にスピーカーの音量を変えても、作成される動画の音量は変わりません。
●コピー後の画像サイズは、160 × 120 ドットです。
●動画は、付属の USB ケーブルを使ってパソコンに取り込むことができます (P.65)。

編集する 6

静止画や動画を削除する

カードの容量がいっぱいになったときや、パソコンなどに取り込んで保存したあとは、不要な静止画や動画を削除しましょう。

静止画を削除する

すでに静止画が表示されている場合は、手順１～２を省略できます。

準 備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「メモリー」

1 メモリーセレクトを表示する

2 「静止画」を選び、決定する
静止画が表示されます

3 メニューを表示する

4 「削除」を選んで、決定する

■削除を終えるには
手順７で「戻る」を選んで決定し、「終了」を選んで決定する。

■すべての静止画を削除するには
手順５で「すべて」を選んで決定し、「する」を選んで決定する。

お知らせ
● 削除した画像は元には戻りません。削除するまえに、内容をよく確認してください。
● プロテクト（P.64）された画像は削除できません。プロテクトを解除してから削除してください。

動画を削除する

「静止画を削除する」（P.61）の手順２で、「動画」を選びます。すでに動画が表示されている場合は、手順１～２を省略できます。

カードの整理

準備
●電源スイッチ　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「メモリー」

1 メニュー/データ　**メニューを表示する**

2 **メニュー項目を選び、**
決定する

<<メニュー>>
プロテクト
削除
DPOF
番号リセット
フォーマット
画面表示
画面明るさ
終了

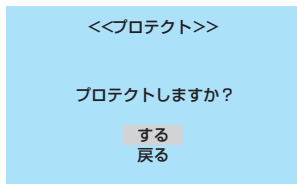
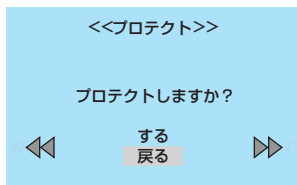
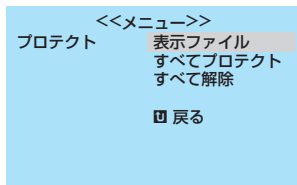
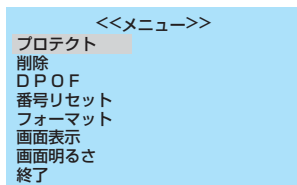
3 **選択肢を選び、**
決定する

<<メニュー>>
プロテクト　表示ファイル
すべてプロテクト
すべて解除
戻る

4 **静止画を選ぶ**

<<プロテクト>>
プロテクトしますか？
する
戻る

5 **「する」を選び、**
決定する

<<プロテクト>>
プロテクトしますか？
する
戻る

■操作が終わったら
「戻る」を選んで決定し、「終了」を選んで決定する。

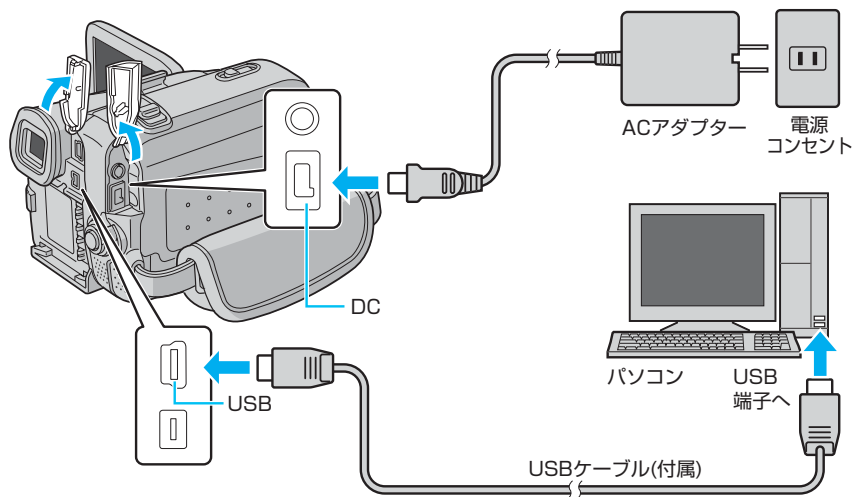
メニュー項目	選択肢と役割
プロテクト	表示ファイル　：表示した画像を保護する、または保護を解除する。 すべてプロテクト　：すべての画像を保護する。 すべて解除　：すべての画像の保護を解除する。
削除	表示ファイル　：表示した画像を削除する。 すべて　：すべての画像を削除する。
DPOF (静止画のみ)	表示ファイル　：表示した静止画の印刷枚数 (最大 15 枚) を指定する。 すべて 1 枚　：すべての静止画を 1 枚ずつ印刷するよう指定する。 リセット　：すべての静止画の印刷枚数を 0 枚に戻す。 ・ DPOF(Digital Print Order Format) 対応のプリンターの場合、カードのなかの指定された静止画を、設定した枚数だけ、自動的に印刷できます。 ・ 静止画が 1000 枚以上あると、DPOF を設定できません。
番号リセット	新たにフォルダを作成し、「0001」からはじまるファイル名をつけて記録する。これまでの画像を、これから撮影する画像と区別しやすくなる。
フォーマット	カードのなかにある静止画・動画・頭出しデータをすべて消去する。 ・ 万一、カードの読み書きができなくなるなどの不具合が生じた場合に、フォーマットすることで機能を回復できることがあります。 ・ フォーマットすると、プロテクトしたファイルも消去されます。
画面表示	切　：モード表示 ( )、フォルダ番号とファイル番号 (100-0001 など)、バッテリー残量表示 ( ) を表示しない。 入　：これらを表示する。(お買い上げ時の設定)
画面明るさ	画面の明るさを調節する。

編集する 8 パソコンに接続する

USB ケーブルで接続する

付属の USB ケーブルでパソコンに接続すると、静止画ファイルをパソコンへコピーできます (P.66)。

ご注意
- Windows 98SE をお使いの場合、あらかじめ適切なドライバーをインストールしてください。 ドライバーをインストールするまえに USB ケーブルで接続すると、正常に動作しなくなることがあります。インストールについては、別冊『取扱説明書 インストール編』をご覧ください。

準 備
- 電源スイッチ　　　　:「再生」
- モード切替スイッチ :「メモリー」

USB ケーブルで接続すると、パソコンの「マイコンピュータ」に、ビデオカメラのカードが「リムーバブルディスク」として表示されます。

※ Macintosh の場合は、「名称未設定」や「No name」などのアイコンがデスクトップにマウントされます。

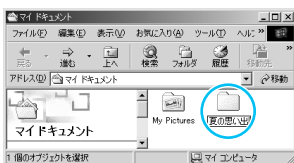
■動作環境 (お使いになれるパソコン)

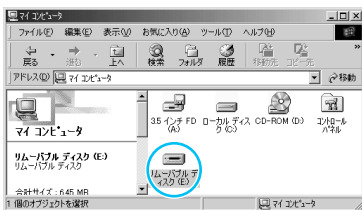
パソコン	：	USB 端子を標準装備する機種
OS	：	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP (すべてプリインストール版) Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2、Mac OS X 10.1.5、10.2.1 ～ 10.2.8、10.3.1 ～ 10.3.5

■パソコンにカードが表示されないときは
マイコンピュータに「リムーバブルディスク」が表示されないときは、設定と接続を確認する (P.88)。

■ビデオチャットするときは (Web カメラ)
Windows XP をお使いの場合は、Windows Messenger を使ってビデオチャットを行えます。詳しくは、Windows Messenger のヘルプをご覧ください。

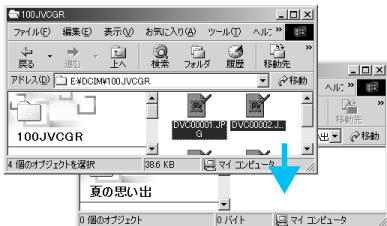
ファイルをパソコンにコピーする

1 パソコンのなかに静止画や動画を入れるフォルダを作る

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」を開く

・ Windows XP では自動的に開きます

3 次のフォルダを開く

静止画：DCIM フォルダを開き、xxxJVCGR フォルダを開く (xxx は数字)
動画　：DCVI フォルダを開き、xxxJVCGR フォルダを開く (xxx は数字)

4 ファイルを選んで、パソコンのフォルダへ移す

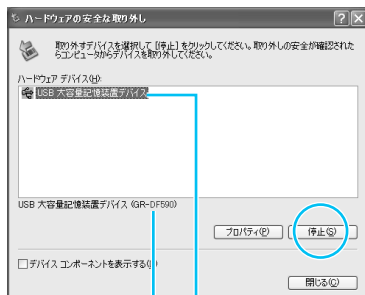
静止画：拡張子 .JPG
動画　：拡張子 .ASF
ファイルがコピーされます

■静止画を表示するには
静止画ファイル (拡張子 .JPG) をダブルクリックする。

■静止画を印刷するには
Windows XP の場合、静止画ファイルを選び、「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。その他の OS の場合、市販の画像処理アプリケーションをご購入ください。Internet Explorer では、正しく印刷できないことがあります。

■動画を再生するには
動画ファイル (拡張子 .ASF) をダブルクリックする。

USB ケーブルを取りはずす

1 タスクトレイの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする

2「停止」をクリックする

お使いのビデオカメラの機種名

3「OK」をクリックする

4 USB ケーブルを取りはずす

■Windows 98SE の場合は

①「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、「取り出し」を選ぶ。

②USB ケーブルを取りはずす。

■Macintosh の場合は

①カードのアイコンを「ゴミ箱」に入れる。

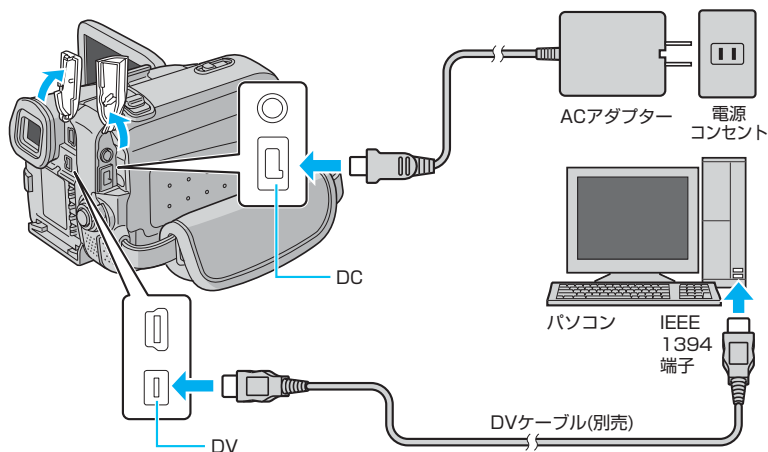
② USB ケーブルを取りはずす。

お知らせ

- カードのなかには、静止画以外のフォルダやファイルも記録されています。
- カードのなかのフォルダとファイルは、パソコンで削除・移動・名称変更しないでください。

ムービーをパソコンに取り込む

別売の DV ケーブルでビデオカメラを IEEE1394 端子を標準装備したパソコンに接続すると、市販のソフトウェアを使ってムービーをパソコンへ取り込むことができます。

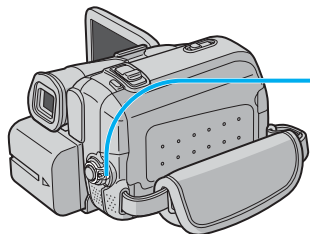
準備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

ムービーをパソコンに取り込む方法については、お使いのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

■ビデオチャットをするときは (Web カメラ)
Windows XP をお使いの場合は、Windows Messenger を使ってビデオチャットを行えます。詳しくは、Windows Messenger のヘルプをご覧ください。

設定する 1

メニューを表示する

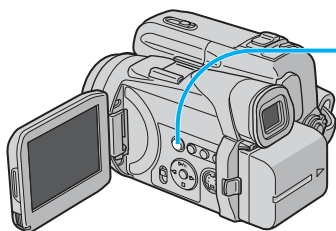
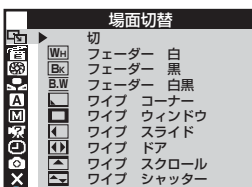
撮影の効果や色合い、光のバランスの変更、画面表示の切替え、編集作業など、お買い上げ時の設定を変えて操作できます。

準備 ●モード切替スイッチ：「ビデオ」（ムービーを撮るとき）
：「メモリー」（静止画や動画を撮るとき）

1 電源スイッチをあわせる

■撮影用に設定するとき

「M」にする

■再生や編集用に設定するとき

「再生」にする

2 メニューを表示する

終了アイコン

■設定せずにメニューを消すには
「戻る」を選んで決定し、終了アイコン（✕）を選んでメニューを消す。
「戻る」がないときは、すでに選ばれている項目を選んで決定する。

■すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すには
メニューの「プリセット」で「実行」を選ぶ（P.83）。

撮影のメニュー

準備
●電源スイッチ　　　　：「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

アイコン	メニュー	ページ
	場面切替	P.72
	プログラム AE	P.73
	明るさ補正	P.74
	白バランス	P.75
A	フルオート	P.77
M	マニュアル	P.75
	システム	P.83
	撮影日時 / 表示	P.79
	静止画撮影	P.77
✕	終了	–

● メニューを表示したとき、文字が消えている機能は使えません。

再生や編集のメニュー

準備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

アイコン	メニュー	ページ
	ビデオ再生モード	P.81
	システム	P.83
	再生日時 / 表示	P.79
✕	終了	–

● モード切替スイッチを「メモリー」にあわせると、静止画と動画用のメニューが表示されます (P.63)。

設定する 2

撮影効果メニュー

設定は「M」にあわせて撮影するときに効果があります。「撮影」にあわせたときは、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

準備 ●電源スイッチ：「M」

1 メニューを表示する

メニュー/データ

2 下表か右表のアイコンを選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

■設定が終わったら
終了アイコン（×）を選んでメニューを消す。

お知らせ ●場面切替を設定したときは、撮影開始時（イン）と終了時（アウト）の撮影ボタンを押した直後に、それぞれの効果があらわれます。

メニュー項目	役割	ページ
場面切替		P.40
●切	場面切替を使わない。	
WH フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウト。	
BK フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウト。	
B.W フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウト。	

メニュー項目	役割
ワイプ：コーナー	映像が右上から左下にワイプイン、逆向きにワイプアウト。
ワイプ：ウィンドウ	映像が中央から外にワイプイン、逆向きにワイプアウト。
ワイプ：スライド	映像が右から左にワイプイン、逆向きにワイプアウト。
ワイプ：ドア	映像が中央から左右に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。
ワイプ：スクロール	映像が下から上にワイプイン、逆向きにワイプアウト。
ワイプ：シャッター	映像が中央から上下に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。

メニュー項目	役割	ページ
プログラム AE		P.40
●切	映像に変化をつけない。	
ナイトアイ	薄暗いところでは、より多くの光を取り込んで明るく撮影する。	P.45
1/60 シャッター 1/60	テレビ画面などを撮るときの、黒い帯が細くなる。	
1/100 シャッター 1/100	蛍光灯のチラつきをおさえる。(50Hz 地域のみ)	
1/250～1/4000 シャッター 1/250～1/4000	「スポーツ」でお好みの効果が得られないときに、手動で設定する。	
スポーツ	動きの速い被写体を、1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できる。	
スノー	晴れた日の雪原など、周囲が明るい場所で選ぶ。	
スポットライト	スポットライトなどが当たって、被写体が明るく映りすぎるときに選ぶ。	
夜景	夜景などを撮るときに、自然な感じになる。	
セピア	古い写真のようにセピア色になる。	
B/W 白黒	白黒映画のようにモノクロになる。	
映画効果	速いコマ落としで、映画のような効果を出す。	
ストロボ	コマ落としで、連続写真のような効果を出す。	
ミラー	画面の左半分が左右反転した映像が、画面の右半分になる。	

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 3 マニュアルメニュー

設定は「Ⓜ」にあわせて撮影するときに効果があります。「撮影」にあわせたときは、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

準 備 ●電源スイッチ：「Ⓜ」

1 メニューを表示する

メニュー/データ

2 下表か右表のアイコンを選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

4 選択肢を選び、決定する

■設定が終わったら

「Ⓤ戻る」を選んで決定し、終了アイコン (☒) を選んでメニューを消す。

メニュー項目	役割	ページ
明るさ補正		
●オート	自動的に明るさを補正する。	P.47
マニュアル	−6〜+6の範囲で、明るさを1刻みで補正する。	

メニュー項目	役割	ページ
白バランス		
●オート	自動的に色バランスを調節する。	–
ワンタッチ	被写体の色をより正確に調節する。 ①白い紙を用意し、画面全体に映し出す。 ②「 」の点滅が止まるまで「決定ボタン」を押し続ける。	
はれ	晴れた日の屋外で撮影するときに選ぶ。	
くもり	曇りの日や日陰で撮影するときに選ぶ。	
ハロゲン	撮影用ライトなど、照明の下で撮影するときに選ぶ。	

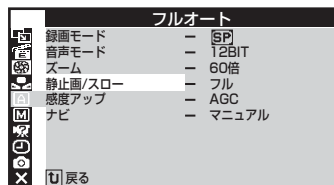
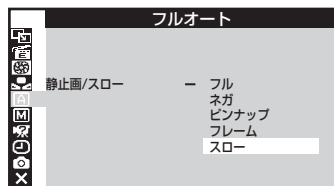
メニュー項目	選択肢と役割	ページ
マニュアル		
手ぶれ補正	切 :設定しない。 ●入 :手ぶれによる映像のブレを低減する。 ・ 三脚などで固定して撮影するときは「切」にします。「入」にすると、不必要な補正が行われ、不自然な映像になることがあります。 ・ 次の場合は補正しきれないことがあります。手ぶれが大きいとき。被写体にコントラスト (明暗差) がほとんどないとき。映像にデジタル処理をしているとき。	–
5S	●切 :設定しない。 5S :5 秒間だけ撮影して一時停止する。(スナップショットムービー作成) アニメ :1/8 秒間だけ撮影して一時停止する。(アニメーション作成)	–
テレマクロ	●切 :ズームの T 側で 1m まで接近して撮影できる。 入 :ズームの T 側で 60cm まで接近して撮影できる。	–
ワイド効果	●切 : 設定しない。 シネマ : 映画風に上下に黒い帯が入る。 ワイド : 画面を上下方向に伸ばして撮影する。 デジタルワイド : 撮影できる範囲が広がる。(0.7 倍) ・ ワイド効果を使って撮影した映像を再生するときは、お使いのテレビ側で画面サイズを切り換えてください。	P.39
ウインドカット	●切 :設定しない。 入 :風による雑音を低減する。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

フルオートー／静止画撮影メニュー

設定は「撮影」と「Ⓜ」のどちらにあわせて撮影するときにも効果があります。

準備 ●電源スイッチ：「Ⓜ」

1 メニュー/データ **メニューを表示する**

2 **右表のアイコンを選び、決定する**

■設定が終わったら

「U 戻る」を選んで決定し、終了アイコン (✕) を選んでメニューを消す。

お知らせ ●静止画から動画ファイルを作るには別冊『取扱説明書 インストール編』をご覧ください。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
フルオート		
録画モード	●SP：標準モード。アフレコ編集・インサート編集できる（大切な録画に）。 LP：長時間モード。撮影時間がSPモードの1.5倍になる。	–
音声モード	●12BIT：アフレコ編集できる。 16BIT：高音質で録音する。	P.58
ズーム	15倍：光学ズームのみ（画質が劣化しない）。 ●60倍：デジタルズームできる（倍率を上げると、画質が劣化する）。 200倍：デジタルズームできる（倍率を上げると、画質が劣化する）。	P.29
静止画 / スロー	●フル：全面に静止画を表示する。 ネガ：写真のネガのように階調を反転する。 ピンナップ：白フチに影をつける。 フレーム：白フチをつける。 スロー：スローモーション効果をつける。	P.48 P.49
感度アップ	切：暗いときも自然のままの明るさで撮る。 ●AGC：暗いときは電気的に明るさを調節する。 オート A：暗いときにAGCよりも明るく調節する。	–
ナビ	●マニュアル：ナビ書込みボタンを押したときに記録する。 5秒、15秒、30秒、60秒：設定した秒数がたつと、頭出しデータを自動的に記録する。 切：頭出しデータを記録しない。	P.28 P.31

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
静止画撮影		
画質設定	●ファイン：高画質（撮影枚数が少ない）。 スタンダード：撮影枚数が多い。	P.34
画像サイズ	640 × 480：撮影枚数を多くしたいとき。 1024 × 768：パソコンで見たいとき。 ●1152 × 864：印刷したいとき。 1600 × 1200：きめ細かく印刷したいとき（高解像度用）。	P.34
記録選択	●➡（テープ）：テープのみに記録する。 ➡（テープ）／➡（カード）：テープとカードの両方に記録する。	P.48
インターバル	●切：通常の撮影をする。 入：定期的に、静止画を撮影する。	P.34
インターバル時間	15秒、30秒、●1分、2分、5分、10分、30分、60分：インターバル機能で静止画を自動的に撮影するときの、撮影の間隔を設定する。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 5 撮影・再生日時 / 表示メニュー

設定は「撮影」「M」「再生」のそれぞれで効果があります。

準備 ●電源スイッチ：「M」（撮影用に設定するとき）
「再生」（再生用に設定するとき）

1 メニューを表示する

メニュー/データ

2 「⏲」を選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

4 選択肢を選び、決定する

■設定が終わったら
「戻る」を選んで決定し、終了アイコン（✕）を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
日時 / 表示		
画面明るさ	画面の明るさを調節する。調節バーが表示されるので、左右ボタン (◀◀ ▶▶) で調節し、決定する。	P.24
画面表示切替	【撮影用】 モニター :テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 ●モニター /TV :テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。 【再生用】 切 :画面、TV、ビデオデッキに、文字や記号を出力しない。 ●モニター :テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 モニター /TV :テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。	P.13 P.39
日時表示	【撮影用】 切 :表示しない。 ●オート :電源を入れたときに 5 秒間表示する。 入 :常に表示する。 【再生用】 ●切 :表示しない。 オート :再生をはじめたときと、日付が変わったときに 5 秒間表示する。 入 :常に表示する。	P.13 P.39
タイムコード	●切 :表示しない。 入 :表示する。	P.13 P.56
LANG./ 言語	●日本語 :メニューを日本語で表示する。 ENGLISH :メニューを英語で表示する。	P.25
外部マイクレベル	切 :表示しない。 ●入 :外部マイクを接続すると表示する。	–
年月日時計合わせ (撮影時のみ)	年月日、時刻 : 年月日と時刻を設定する。	P.22

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 6 ビデオ再生モードメニュー

設定は「再生」にあわせたときに効果があります。

準 備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 メニューを表示する

メニュー/データ

2 「[ビデオ]」を選び、

決定する

3 メニュー項目を選び、

決定する

4 選択肢を選び、

決定する

■設定が終わったら
「[戻る] 戻る」を選んで決定し、終了アイコン（✕）を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
ビデオ再生モード		
音声切替	●ステレオ：左右の音声を両方とも再生する。 音声 L：左の音声のみ再生する。 音声 R：右の音声のみ再生する。	–
アフレコ音声	●切：撮影時の音声を再生する。 入：アフレコ音声を再生する。 ミックス：撮影時の音声とアフレコ音声を同時に再生する。	P.58
録画モード	●SP：標準モード。アフレコ編集とインサート編集ができる（大切な録画に）。 LP：長時間モード。撮影時間が SP モードの 1.5 倍になる。	–
→コピー	●切：通常の撮影をする。 入：ムービーの1コマを静止画としてカードにコピーする。	P.59
ナビ画像削除	画像選択：頭出しデータを 1 件削除する。 テープ選択：同じテープから作成した頭出しデータを削除する。 すべて：すべての頭出しデータを削除する。	P.32
ブランクサーチ	実行：5 秒間以上の無記録部分を探す。 ・無記録部分の約 3 秒手前で停止しますので、そこから録画をスタートすると、約 3 秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、録画スタート位置を確認してください。	–
アナログ入力	●切：アナログ入力を無効にする。 入：アナログ入力できるようになる。 ・AV コードと S 映像コードを両方とも接続していると、S 映像コードの映像信号が優先されます。	P.54

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 7 システムメニュー

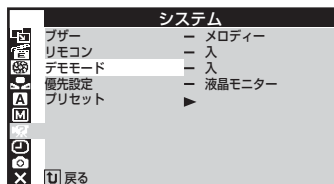
設定は「撮影」「M」「再生」のすべてに効果があります。

準 備 ●電源スイッチ：「M」または「再生」

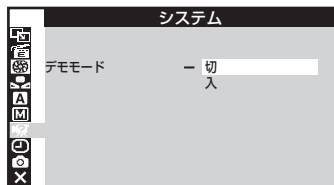
1 メニューを表示する

2 「?」を選び、

決定する

3 メニュー項目を選び、

決定する

4 選択肢を選び、

決定する

■設定が終わったら

「戻る」を選んで決定し、終了アイコン (✕) を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
システム		
ブザー	切　:操作音を消す。 ブザー　:一部の操作ではブザー音を鳴らす。 ●メロディー :操作するごとにメロディー音を鳴らす。	—
リモコン	切 :リモコン操作を受けつけない。 ●入 :リモコンで操作できる。	—
デモモード	切 :設定しない。 ●入 :ビデオカメラにテープを入れずに電源を入れると、プログラム AE などの効果をデモで確認できる。	P.73
優先設定	●液晶モニター : 液晶画面を優先的に表示する。 ファインダー :ファインダーを優先的に表示する。 ・ 液晶画面を開いてファインダーを引き出した場合、どちらを優先的に表示するかを設定します。	P.24
プリセット	実行 :メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す。	—

●印は、お買い上げ時の設定です。

故障かなと思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源（バッテリーと AC アダプター）を取りはずし、再び取りつける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または ビクターサービス窓口へご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	**映像にノイズが出たり音声がおかしい** ●モザイク画（ブロック状のノイズ）がでる。 ●黒色やモザイク画の横しまがでる。 ●音声が途切れる。 ●音や映像がでない。 ●青い画面になる。 	●ビデオヘッドが汚れています。 →ミニ DV ヘッドクリーナー（別売）でクリーニングする。 →終わったら、撮影や再生をして確認する。 ミニ DV ヘッドクリーナー(M-DVSCL)別売 ※ヘッドが磨耗するので、長時間繰り返しクリーニングしないでください。 ※詳しくはヘッドクリーナーの説明書をご覧ください。 ■数回クリーニングしても正常に再生されないとき 撮影時にビデオヘッドが汚れていたと考えられます。 ■美しく撮影するためには ●クリーニングカセットを持ち歩く。 ●撮影するまえに試し撮りをする。確認は必ず再生画像でしてください。撮影時に画面やファインダーに表示されている映像では、汚れなどの確認はできません。 ●1ヶ月に 1 回は使用する。 ●約 1000 時間の使用を目安に、お買い上げ店またはビクターサービス窓口へ定期点検にだす。	–

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	映像が乱れる	●テープの無記録部分では映像が乱れることがあります。故障ではありません。	–
再生中	巻戻しや早送りできない	●電源スイッチを「再生」にあわせる。	P.26
再生中	テレビで再生されない	●テレビの入力切換でビデオ用に設定する。	P.39
電源	電源が入らない	●AC アダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。 ●画面を開くか、ファインダーを引き出す。	P.18
撮影中	撮影できない	●テープの誤消去防止用つまみを「REC」にあわせる。 ●「テープ終り」と表示されていたら、テープを交換する。 ●カセットカバーを閉じる。 ●電源スイッチを「撮影」または「M」にあわせる。 ●モード切替スイッチを正しく設定する。	P.20 P.26 P.27
撮影中	自動でピントがあわない	●電源スイッチを「撮影」にあわせる。 ●電源スイッチが「M」のときは、オートフォーカスにする。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスに設定して調節する。 ●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。	P.26 P.43 P.15
撮影中	被写体が暗い	●ライトで照らすか、ナイトアイを使う。 ●逆光補正ボタンを押す。	P.44 P.45 P.46

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
撮影中	被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは解除する。 ●メニューの「プログラム AE」を「スポットライト」に設定する。 ●メニューの「明るさ補正」を「－」側に設定する。	P.46 P.73 P.74
	被写体の色がおかしい	●照明や背後にいろいろな光源があるときは、メニューの「白バランス」を「ワンタッチ」に設定する。	P.75
	映像に明るい縦の線がでる	●強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。	–
	日時表示がでない	●メニューの「日時表示」を「入」に設定する。	P.79
	デジタルズームできない	●メニューの「ズーム」を「15 倍」以外に設定する。 ●静止画を撮影するときは、光学ズーム（15 倍まで）のみを使います。	P.77
	プログラム AE・場面切替が使えない	●電源スイッチを「Ⓜ」にあわせる。	P.26
	場面切替の「フェーダー：白黒」が使えない 白バランスが設定できない	●メニューの「プログラム AE」を「セピア」や「白黒」に設定しているときは使えません。	P.73

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
液晶画面・ファインダー	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。	P.79
	画面の裏側が熱くなる	●画面または電源を切ってしばらく置く。（長時間使うとバックライトが熱くなります。故障ではありません。）	–
	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。（圧迫すると映像ムラが生じます。）	–
	アイコン表示が点滅または消える	●場面切替・プログラム AE・手ぶれ補正などの同時に使えない機能を選んでいるときは、どちらかの機能を使うのをやめる。	P.72 P.75
	画面が見えにくい	●ファインダーを使う。（直射日光下など周囲が明るいと見えにくくなります。）	P.24
	画面に表示されない	●画面を 180 度回転しているときは、確実に開く。 ●画面を使うときは、ファインダーを引き出さない。または、メニューの「優先設定」を「液晶モニター」に設定する。	P.24 P.83
	ファインダーに表示されない	●画面を閉じる。または、メニューの「優先設定」を「ファインダー」に設定する。	P.83

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
カード	カードが入らない	●カードの向きを確認する。	P.21
カード	ファイルを削除できない	●メニューの「プロテクト」でプロテクトを解除する。	P.64
パソコン接続	マイコンピュータに「リムーバブルディスク」が表示されない	●USB ケーブルを正しく接続する。 ●Windows XP の場合、「リムーバブルディスク」画面が表示されるまで待ち、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選んで「OK」ボタンをクリックする。 ●Windows 98SE の場合、付属のドライバーを正しくインストールする。 ※別冊『取扱説明書 インストール編』をご覧ください。 ●コントロールパネルの「システム」のプロパティで、ユニバーサルシリアルバス (Universal Serial Bus) コントローラを使えるように設定する。	P.65
パソコン接続	デスクトップにカードが表示されない (Macintosh)	●USB ケーブルを正しく接続する。 ●Mac OS X の場合、Finder の移動メニューで「コンピュータ」を選ぶ。それでもカードが表示されないときは、OS のバージョンを確認し、動作確認済みのバージョンにアップデートする。 ●Mac OS 9 ～ 9.0.2 の場合、Mac OS 9.0.4 以降にアップデートする。	P.65
パソコン接続	通信時エラー表示が出る	●USB ケーブルを正しく接続する。 ●Windows 98SE の場合、付属のドライバーを正しくインストールする。 ※別冊『取扱説明書 インストール編』をご覧ください。	P.65

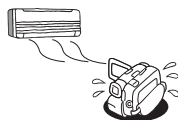
分類	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
パソコン接続	動画ファイルを再生できない	●Windows Media Player(バージョン 6.4 以降)がインストールされていることを確認する。インストールされていない場合は、最新版の Windows Media Player をマイクロソフト社のホームページからダウンロードする。 http://www.microsoft.com/japan/ ●インターネットに接続してから、動画ファイルを開く。必要なソフトウェアが自動的にダウンロードされます。 ●再生できるが音声がでない場合は、付属の CD-ROM から G.726 デコーダをインストールする。	—
その他	充電中、ランプが点滅しない	●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	P.103
その他	テープが入らない	●バッテリー残量を確認し、不足しているときは AC アダプターを接続する。 ●テープの向きを確認する。	P.19 P.20
その他	リモコンがきかない	●ビデオカメラのリモコン受光部に、リモコンを正しく向ける。 ●リモコンの電池を交換する。 ●メニューの「リモコン」を「入」に設定する。	P.10 P.17 P.83
その他	バッテリーステータスが表示されない	●AC アダプターを接続する。(バッテリー残量が完全になくなると、バッテリーステータスは表示されません。)	P.19
その他	DV ケーブル接続時、操作できない	●電源を切り、接続しなおしてから操作する。	—

■次の場合、故障ではありません

- 太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。
- 画面やファインダーに黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
(画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな点がでることがあります。)

こんな表示がでたら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源（バッテリーと AC アダプター）を取りはずし、再び取りつける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または ビクターサービス窓口へご相談ください。

表示	ここを確かめてください
露が付きました しばらく お待ち下さい （交互に表示され、動作が停止）	●テープを出し入れせずに 1 時間以上待ち、メッセージが消えてから使う。 ※消えない場合は、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。 ■つゆつきとは 冷えたビールをコップに注いだときのように、まわりに水滴が付着する状態のこと。本機で発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼りついてしまう。 ■こんなときに起こりやすい ●湿気の多いとき。 ●部屋を暖房した直後。 ●寒いところから暖かいところに急に移動したとき（エアコンなどの冷風が直接当たるところから暑い屋外への移動など）。 ■つゆつきを防ぐには ●温度や湿度の違うところに移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく置き、環境になじませてから使う。 ●例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入った場合は、ビニール袋などで密封し、しばらく置いて室温になじませる。 お知らせ ●メッセージの表示前でもレンズや保護ガラスに水滴がついている場合、ヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。 ●寒冷地帯ではつゆが凍結し、霜になることがあります。またメッセージが消えるまで時間がかかることがあります。

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	01、02、06	●バッテリーと AC アダプターを取りはずして付け直し、表示が消えてから使う。	P.18
	03、04	●テープを取り出して入れ直し、表示が消えてから使う。	P.20

■01 ～ 06 について
動作させて同じ表示がでなければ問題ありません。
2、3 回繰り返しても表示が消えないときは、テープは取り出さず、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	日時を設定して下さい	●日時を設定し直す。再び表示されたら、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。	P.22
	バッテリー残量がありません	●AC アダプターを接続する。	P.18
	クリーニングカセットを試して下さい	●ミニ DV ヘッドクリーナー (別売) でクリーニングする。	P.84
	レンズキャップ	●レンズキャップを取りはずす。	P.17
テープ	インサート録画できません	●テープのツマミを「REC」にあわせる。 ●メニューの「録画モード」を「SP」に設定して撮影しておく。 ●テープにムービーが記録されていないときは、ムービーを撮影しておく。	P.77
	音声アフレコできません	●テープのツマミを「REC」にあわせる。 ●メニューの「録画モード」を「SP」に、「音声モード」を「12BIT」設定して撮影しておく。	P.77

	表示	ここを確かめてください	ページ
テープ	テープへ記録できません	●テープのツマミを「REC」にあわせる。	–
テープ	コピーガードがかかっています	●コピーガードのかかっている映像はダビングできません。	–
テープ	テープ終り	●テープを交換するか、巻戻す。	–
テープ	HDV	●HDV 規格で記録した映像です。本機では再生できません。 ●テープを交換するか、早送り／巻戻しで再生できる部分を探す。 ●不要な映像の場合は、上書きして撮影する。	–
カード	?	●ほかの機器で再生する。(本機で再生できない形式です。)	–
カード	メモリーカードエラー	●カードを入れ直す、またはメニューの「フォーマット」を実行する。	P.64
カード	静止画（動画）がありません	●カードに静止画または動画を撮影する。	P.34
カード	メモリー容量がありません	●カードを交換するか、ファイルを削除する。	P.61
カード	メモリーカードへ記録できません	●カードを交換するか、ファイルを削除する。 ●SD メモリーカードのライトプロテクトをはずす。	P.61

	表示	ここを確かめてください	ページ
カード	ライトプロテクトがかかっています	●SD メモリーカードのライトプロテクトをはずす。 ●カードを交換する。	–
カード	プロテクトがかかっています	●メニューの「プロテクト」で解除する。	P.64
ナビ	撮影を一時停止しナビ書込みボタンを押して下さい	●撮影を一時停止してから、書込みボタンを押す。(撮影中に書込みボタンを押すと、メッセージが表示される。)	P.28
ナビ	ナビ画像がありません	●撮影時に書込みボタンを押す。 ●再生時にナビ書込みをする。 ●メニューの「ナビ」で、撮影時に自動的に頭出しデータを記録するよう設定する。	P.28 P.31 P.77
ナビ	検出できませんでした	●撮影時に書込みボタンを押す。 ●再生時にナビ書込みをする。 ●メニューの「ナビ」で、撮影時に自動的に頭出しデータを記録するよう設定する。	P.28 P.31 P.77
ナビ	ナビできません	●本機で録画したテープを入れる。	P.31
ナビ	このメモリーカードではできません	●テープ撮影時に入れていたカードを入れる。	–

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

 危険 人が死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。

 警告 人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの。

 注意 人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

絵表示について

注意・警告が必要な事項。（図中に具体的な注意内容）

 禁止されている事項。（図中に具体的な禁止内容）

 実行して頂きたい事項。（図中に具体的な実行内容）

万が一こんなときは → **バッテリーをはずす／電源プラグを抜く**

- 煙が出たり異臭がするとき
- 落下などにより壊れたとき
- 内部に水や異物が入ったとき

（そのまま使用すると火災や感電の原因）

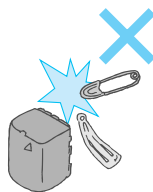
→ 販売店に修理を依頼してください

危険

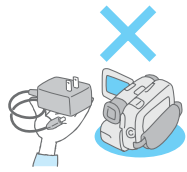
バッテリー、リモコン用電池

絶対に分解、加工、加熱、火中投入などをしない
- 液漏れ、発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

端子部に金属物（ネックレス、ヘアピンなど）を接触させない
- ショートによる発熱で火災や、やけどの原因となります。
- 持ち運びのときは、必ずバッテリーにキャップを付け、電池は１つずつビニール袋などに入れてください。

高温（60 ℃以上）になる場所に置かない
- 発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

ACアダプター

本機以外に使わない
●火災や故障、感電の原因となります。
●本機用のものか確認してからご使用ください。

分解や改造をしない
●火災や感電の原因となります。
●お客様による点検、整備、修理は危険です。販売店にご依頼ください。

⚠警告

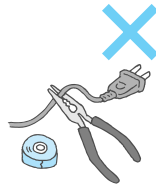
バッテリー、リモコン用電池

液もれしていたら使わない
●ショートによる発熱で、やけどの原因となります。
●本体取り付け部をよくふいて、バッテリーを交換してください。
●液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
●万一液が目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。

ぬれたバッテリーは使わない
●故障、感電、発熱、発火の原因となります。

電池は幼児の手の届かない場所に置く
●誤って飲み込んだときは、医師に相談してください。

ACアダプター

電源コードを傷つけない
●火災や感電の原因となります。
●次のようなことは電源コードが傷む原因になります。
コードを持って抜く、加工する、
無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重いものを載せる、加熱器具に近づける。

雷が鳴り出したら、電源プラグにふれない
●感電の原因となります。

電源プラグは根元までしっかり接続する
●火災や感電の原因となります。
●接触不良で発熱することがあります。

AC アダプター		**電源コードが傷んだときは電源プラグを抜く** ●販売店に修理を依頼してください。 ●芯線が露出したり、断線したまま使用すると、火災や感電の原因となります。
		電源プラグにホコリや金属を付着させない ●火災や感電の原因となります。 ●付着しているときは電源プラグを抜き、取り除いてください。
本体		**なかに金属や燃えやすいものや、水などの液体を入れない** ●火災や感電の原因となります。
		●特にテープやカードの出し入れ口に注意願います。 ●降雨・降雪中、海岸・水辺などでは水が入らないよう、ご注意ください。 ●ふろ場では使用しないでください。
		内部の部品にさわらない ●感電や故障の原因となります。 ●テープの出し入れ口から見える部品にさわらないでください。
		機器を接続するときは、電源を切る ●感電や故障の原因となります。
		分解や改造をしない ●火災や感電の原因となります。 ●内部の点検、整備、修理は販売店にご依頼ください。
		運転中に使用しない ●交通事故の原因となります。 ●自動車などを運転しながらの撮影・再生はしないでください。
		レンズやファインダーを直射日光などの強い光源に向けない ●火災や故障の原因となります。 ●集光により、内部部品が破損、過熱することがあります。

⚠注意

アクセサリー		**指定のアクセサリーを使う** ●火災や感電の原因となります。 ●本機用のものか、確かめてお使いください。

バッテリー、リモコン用電池	**充電中に長時間ふれない** ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。 **電池を入れるときは、極性表示（＋と－）をあわせる** ●電池の破裂、液漏れにより火災、けが、周囲の汚損の原因となります。
AC アダプター	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となります。 **充電中に長時間ふれない** ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。 **コードはつまずかないように配置する** ●製品の落下や転倒によるけがの原因となります。
本体	**次のような場所には置かない、使わない** ●浜辺など砂ボコリの多いところ。 ●湿気やホコリの多いところ。 ●調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気の当たるところ。 ●熱器具の近くや直射日光の強いところなど高温になるところ。 ●火災や感電、故障の原因となります。
共通	**移動するときは、電源プラグや接続コードをはずす** ●コードの損傷による火災ややけどの原因となります。 **長期間使わないときや、お手入れするときはバッテリーをはずし、電源プラグを抜く** ●感電の原因となります。 ●電源が「切」でも機器には電気が流れています。 **5 年に一度は販売店に内部点検を依頼する** ●内部のホコリに電気が流れ、火災や感電の原因となります。 ●湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。 **飛行機内での使用は、航空会社の指示に従う** ●本機の電磁波などが、計器に影響を与えるおそれがあります。
付属品	**付属の CD-ROM をオーディオ用プレーヤーで再生しない** ●回路やスピーカーを破損するおそれがあります。 ●オーディオ用の CD ではありません。再生しようとすると過大な信号が流れるおそれがあります。

保証とアフターサービス

保証書 別添付

保証書を販売店から受け取る際は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。その後、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービスにお問い合わせください。最寄りのビクターサービスは、別紙の「ビクターサービス窓口案内」にてご確認ください。

愛情点検	●長年お使いのカメラの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある

ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

修理を依頼される場合 持込修理

「故障かなと思ったら…」(P.84) に従って調べてください。
異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機・DV カセットテープなどの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルビデオカメラ
型名	GR-DF590
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	(　)　ー

■保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社 (以下、当社) にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合せへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

仕様

一般

電源	ACアダプター使用時　DC 11V バッテリー使用時　DC 7.2V
消費電力	ファインダー使用時　3.7W(ライト使用時 4.0W) 液晶画面使用時　4.7W(ライト使用時 5.0W)
外形寸法	75mm × 74mm × 111mm (幅×高さ×奥行き)
質量	本体　約410g 撮影時　約490g (バッテリーBN-VF707、60分テープ、メモリーカード、レンズキャップ、グリップベルトを含む)
動作環境	許容動作温度　0℃～40℃ 許容相対湿度　35%～80% 許容保存温度　-20℃～50℃

カメラ部

映像素子	1/4.5型133万画素CCD 撮像エリア：69万画素(ムービー)、100万画素(静止画)
レンズ	F1.2～F2.8、f = 3.0mm～45mm (35mmカメラ換算　ムービー：43.3mm～649.5mm 静止画　：36.1mm～541.5mm)
フィルター径	30.5mm (ネジピッチ0.5mm)
最低照度	9ルクス(ナイトアイ時：約1ルクス)
ライト	推奨撮影距離：1.5m以下、LEDタイプ

液晶部／ファインダー部

液晶画面	2.5型、11.2万画素、アモルファスカラー液晶
ファインダー	0.16型、11.3万画素、ポリシリコンカラー液晶

■撮影・再生時のズーム仕様

ムービー・動画撮影時	光学ズーム15倍まで、デジタルズーム200倍まで
静止画撮影時	光学ズーム15倍まで
再生時	拡大再生13倍まで

デジタルビデオカメラ部

録画／再生方式	DV 方式 (SD 仕様) 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCM デジタル記録、32kHz 4 チャンネル (12BIT)、 48kHz 2 チャンネル (16BIT)、44.1kHz(再生のみ)
信号規格	NTSC 日米標準信号方式
使用カセット	ミニ DV カセット
録画／再生時間	SP モード：80 分、LP モード：120 分 (80 分テープ使用時)
早送り／巻戻し	約 3 分 (60 分テープ使用時)

デジタルスチルカメラ部

記録メディア	SD メモリーカード、マルチメディアカード
圧縮方式	静止画　JPEG 準拠 動画　MPEG4(ASF 形式) 準拠
画像サイズ	静止画　1600 × 1200 ドット、1152 × 864 ドット、 1024 × 768 ドット、640 × 480 ドット 動画　160 × 120 ドット
静止画画質	2 モード (ファイン／スタンダード)

■静止画の撮影可能枚数の目安

画像サイズ	画質モード	マルチメディアカード		SD メモリーカード			
		16MB (市販)	32MB (市販)	8MB (市販)	16MB (市販)	32MB (市販)	64MB (市販)
640 × 480	ファイン	105 枚	215 枚	47 枚	95 枚	205 枚	425 枚
	スタンダード	320 枚	645 枚	160 枚	295 枚	625 枚	1285 枚
1024 × 768	ファイン	50 枚	100 枚	21 枚	47 枚	95 枚	200 枚
	スタンダード	160 枚	320 枚	65 枚	145 枚	310 枚	640 枚
1152 × 864	ファイン	32 枚	60 枚	13 枚	29 枚	60 枚	125 枚
	スタンダード	105 枚	216 枚	45 枚	95 枚	205 枚	425 枚
1600×1200	ファイン	21 枚	42 枚	8枚	19 枚	41 枚	80 枚
	スタンダード	65 枚	135 枚	28 枚	60 枚	130 枚	275 枚

■動画の撮影可能時間の目安

マルチメディアカード		SD メモリーカード			
16MB (市販)	32MB (市販)	8MB (市販)	16MB (市販)	32MB (市販)	64MB (市販)
17 分	34 分	7 分	15 分	33 分	68 分

お知らせ
- ●パソコンで動画ファイルを再生する場合は、Windows Media Player (Windows 版、Macintosh 版ともに Ver6.4 以降) をお使いください。
- ●撮影可能枚数と撮影可能時間は、メモリーカードの購入時のものです。ナビの頭出しデータなどを記録すると減少します。さらに撮影条件・カードの状態などによっても変化します。表の数字は目安です。

端子部

DV 端子	4 ピン (i.LINK/IEEE1394 準拠)
AV 端子	映像端子 アナログ入力 (0.8V(p-p) ～ 1.2V(p-p)、75Ω) アナログ出力 (1.0V(p-p)、75Ω) 音声端子 ステレオ・アナログ入力 (300mV(rms)、50kΩ) ステレオ・アナログ出力 (300mV(rms)、1kΩ)
S 端子	S 映像端子 アナログ入力 (Y:0.8V(p-p) ～ 1.2V(p-p)、75Ω C:0.2V(p-p) ～ 0.4V(p-p)、75Ω) アナログ出力 (Y:1.0V(p-p)、75Ω C:0.29V(p-p)、75Ω)
マイク端子	φ3.5mm ミニジャック (ステレオ)
USB 端子	ミニ USB-B タイプ (USB 2.0/1.1 準拠、転送速度 : USB 1.1 相当)

■シュー対応別売アクセサリーをご購入になるまえに

シュー対応アクセサリー (マイクなど) の固定リングの直径が、27mm 以下であることをご確認ください。固定リングの直径が 27mm より大きいアクセサリーは、本機で使用できません。

ACアダプター AP-V14

電源	AC 100V－240V、50Hz ／ 60Hz
入力容量	23VA(100V)、31VA(240V)
出力	DC11V、1A
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃ (充電時は 10 ℃～ 35 ℃)
外形寸法	50mm × 27mm × 71mm (幅×高さ×奥行き) (コードと AC プラグを含まず)
質量	約 100g

リモコン RM-V720

電池	DC3V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約 1 年 (使用頻度により変わります。)
動作距離	約 5m(正面軸上)
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃
外形寸法	45mm × 11mm × 105mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 40g (ボタン電池を含む)

バッテリー BN-VF707

電圧	DC 7.2V
容量	700mAh
外形寸法	38mm × 23mm × 41mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 55g

■充電時間の目安

バッテリー	時間
BN-VF707(付属)	1 時間 30 分
BN-VF714(別売)	2 時間 40 分
BN-VF733(別売)	5 時間 40 分

※室温 10 ℃～ 35 ℃の範囲を想定しています。表の数字は目安です。

■実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	ファインダー+ライト使用時	液晶画面使用時	液晶画面+ライト使用時
BN-VF707(付属)	40分	35分	30分	25分
BN-VF714(別売)	1時間15分	1時間10分	1時間	55分
BN-VF733(別売)	3時間	2時間50分	2時間25分	2時間15分
VU-V840KIT(別売)	3時間40分	3時間20分	2時間50分	2時間40分
VU-V856KIT(別売)	5時間10分	4時間45分	4時間5分	3時間50分

■連続撮影時間の目安(最大撮影時間)

バッテリー	ファインダー使用時	ファインダー+ライト使用時	液晶画面使用時	液晶画面+ライト使用時
BN-VF707(付属)	1時間15分	1時間10分	1時間	55分
BN-VF714(別売)	2時間35分	2時間25分	2時間5分	1時間55分
BN-VF733(別売)	6時間5分	5時間40分	4時間50分	4時間30分
VU-V840KIT(別売)	7時間15分	6時間40分	5時間40分	5時間20分
VU-V856KIT(別売)	10時間20分	9時間30分	8時間10分	7時間40分

※VU-V840KIT および VU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売の DC コード (VC-VBN800) でバッテリーポーチとビデオカメラを接続して使います。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。
※撮影条件により、撮影可能時間は変化します。表の数字は目安です。

お知らせ
- 撮影時間は、ズームを使ったり、撮影と撮影停止を繰り返すことなどで短くなります。撮影予定時間の約3倍分のバッテリーを用意することをお勧めします。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入/切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください (P.18)。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

他社製品の登録商標と商標について

- Microsoft,、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- i-LINK は、IEEE1394-1995 仕様およびその拡張仕様です。i は i-LINK に準拠した商品につけられるロゴマークです。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

さくいん

ユーザー登録およびアンケートのお願い

このたびは、ビクター製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい製品の開発に反映させるために、ユーザー登録およびアンケートにご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/dvc/

製品についてのご相談や修理のご依頼は

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.99 をご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話：(045) 450-8950 FAX：(045) 450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12
技術的なご相談	
DVご相談窓口 電話：(045)450-2770	

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M5D5 0905FOH-HT-VM